

「子育て世代の100年ライフに関する意識調査」 結果概要

NPO法人ファザーリング・ジャパン
2018.06.06.

2018年6月6日

「人生100年時代」に30～40代の子育て世代 9割が不安

「定年後の人生」は5割がポジティブと楽観的も、行動を起こしている人は2割未満。
「現在の仕事へのやりがい」「将来のキャリア展望」「学びの機会」が実現のカギ

政府は人生100年時代構想会議(2017年9月)を設置し、長い人生を生き抜くために必要な経済・社会・教育システムの検討を始めました。NPO法人ファザリング・ジャパン(以下FJ。東京都千代田区、代表安藤哲也)では、子育て中の30代と40代1,038名を対象に、人生100年時代に対する意識とそれに関する課題を明らかにすることを目的として調査を行いました。

【調査結果の要旨】

- 1)「人生100年時代」に対する意識は低く、「知っているし関心もある」は2割に満たない。同時に、約9割が不安を感じている。一方、「定年後の人生」については、ポジティブな印象を5割が持っていた。
これは、「人生100年時代」と比べ「定年後の人生」は、親や上司など定年後のイメージを重ね合わせられる存在がいるため予想でき、「人生100年時代」は未知なる世界で予想できないことが一因と考えられるが、現在の良い定年ライフを見て、子育て世代の「定年後の人生」をポジティブにとらえているのだとすると、楽観的にイメージしている危険性も考えられる。
- 2)「今後の人生に関して不安なこと」で金銭面や健康面への不安を5割前後が挙げているが、それを解消する「人生やキャリアのための行動」は2割にも満たないことが分かった。特に「人生100年時代」に重要視されている「無形資産(※)」を増やす行動は「家族との時間や生活を大切にしている」を除き、1割～2割と低いことが分かった。
- 3)一方、「人生100年時代」に必要な、生涯で複数のキャリアをもつ「マルチステージ(※)」への移行に関し、転職の経験がある人は半数以上、副業(もしくは兼業・複業)をしたことがある人は2割以上、経験の有無に関わらず関心がある人は6割であった。一般的に日本人は「1つの仕事に収入ややりがいの全てを求める傾向」にあると指摘されるが、子育て世代においては、転職等への経験や関心が高く、「マルチステージ」へ移行する土壌はあると考えられる。
- 4)「人生100年時代への期待と不安」に影響を与えるのは「現在の仕事に対するやりがい」、「現在の仕事と将来のキャリア展望」「5年後・10年後のキャリアプラン」であり、それぞれに相関がみられた。やりがいを感じる現在の仕事から、将来へのキャリアを主体的に描けると、「定年後の人生」より不透明と感じがちな「人生100年時代」への期待も高まることが分かった。同時に、「学びの機会」もそれぞれに影響を与えることが分かった。

以上から、「定年後の人生」を楽観的にとらえ、「人生100年時代」に不安を描く傾向にある子育て世代1人1人は、現在の仕事にしっかり向き合い、将来を見据えて主体的にキャリアを描きながら、今から「有形資産」と「無形資産」を増やす行動が必要である。そのために日本社会や企業は、働き方改革や仕事と子育ての両立支援などをこれまで以上に推進し、子育て世代に時間的余裕を生み出して「学びの機会」が増えるよう働きかける必要があると考える。

※:「LIFE SHIFT(リンダ・グラットン著)」において、人生100年時代では「教育→仕事→引退」の3ステージから、生涯で複数のキャリアを持つ「マルチステージ」への移行を提唱している。その実現には、お金などの「有形資産」だけでなく、家族や友人、スキル、知識、健康などの「無形資産」を築くことが必要であるとしている。

〈本件に関するお問い合わせ先〉
NPO法人ファザリング・ジャパン 担当理事：林田・塚越
email:gyoumu@fathering.jp HP: http://fathering.jp

【NPO法人ファザーリング・ジャパン 代表理事 安藤哲也 コメント】

盛んに使われるようになった「人生100年時代」という言葉。定年を控えた50代は関心を引くが子育て中の30～40代はどう考えているのか。調査結果では100年人生に対する意識はまだ低く、金銭面や健康面で漠然とした不安はあるものの「何かから始めたら良いのかわからない」という状態の人が多く分かった。ただ巷では「副業解禁」「パラレルキャリア」「サードプレイス」等が常識化する流れにあり、その中で既に何らかのシフトを目論む人も増えてきている。私たち子育て世代は日々仕事に育児に忙しいが、来るべき100年ライフを楽しむためにも学び直しを持ち、自身のキャリア展望、無形資産の構築、そして子どもの自立へのサポート等を心がけることが重要だ。それは当事者の価値観だけでなく、働き方やコミュニティの在り方といった環境の問題にも係っている。FJは人生100年時代をポジティブに捉え、特に父親の意識向上と実践に繋がるような支援事業を今後も展開していく。

調査概要

1. 調査目的

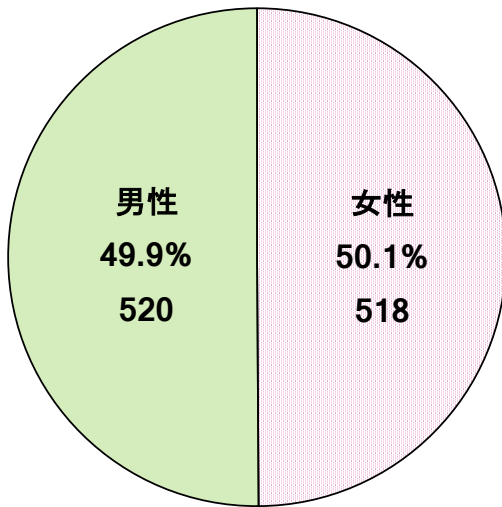
人生100年時代について、子育て中の30-40代の意識とそれに関する課題を明らかにすることを目的とする。

2. 調査方法

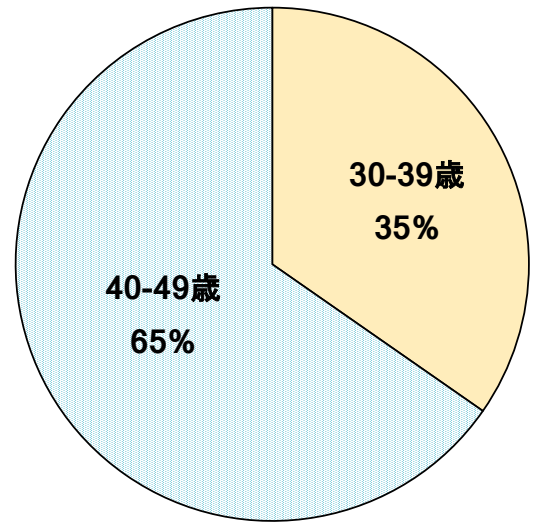
調査方法	インターネットリサーチ
実施機関	株式会社 インテージ
実施期間	2018年4月25日（水）
調査対象者	30代と40代の子どもがいる男性と女性
調査エリア	全国
有効サンプル数	1,038（男性520、女性 518）

3. 回答者属性

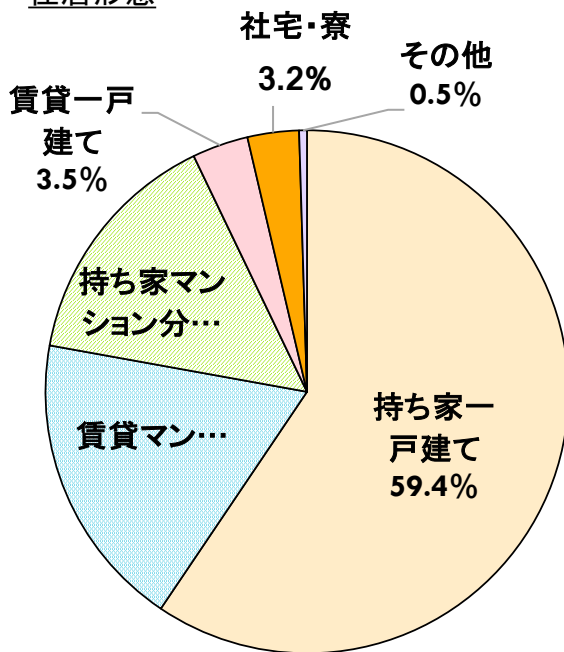
性別



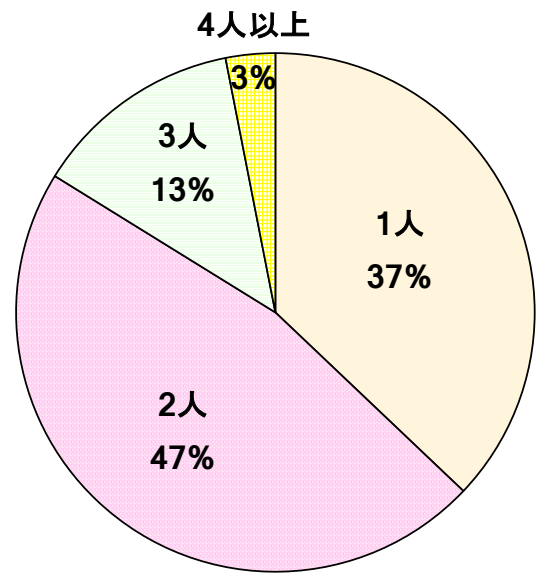
年代



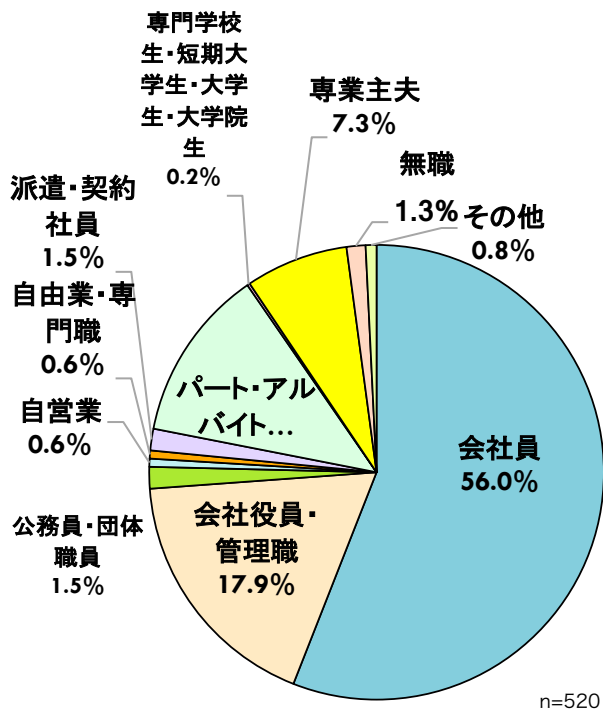
住居形態



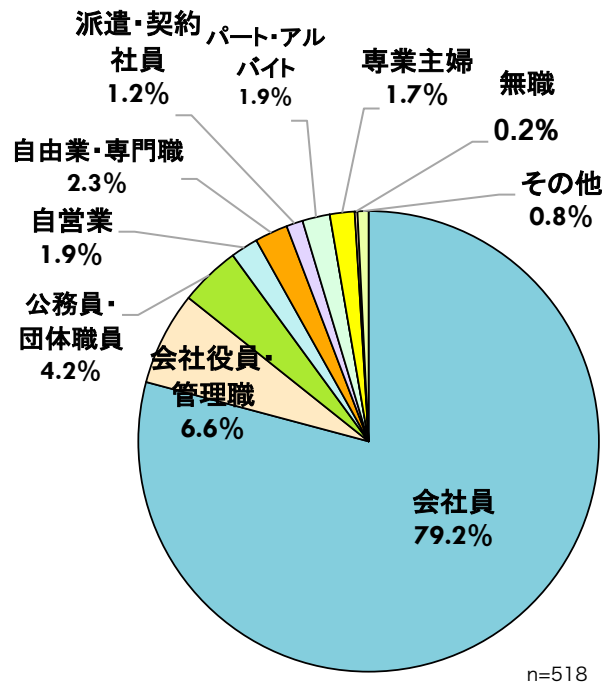
同居している子どもの人数



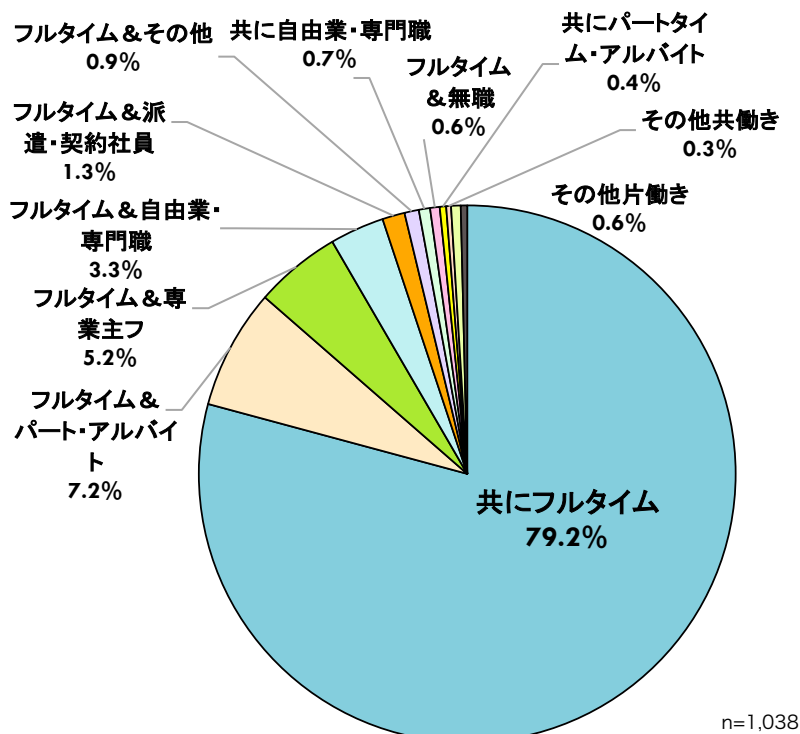
男性職業



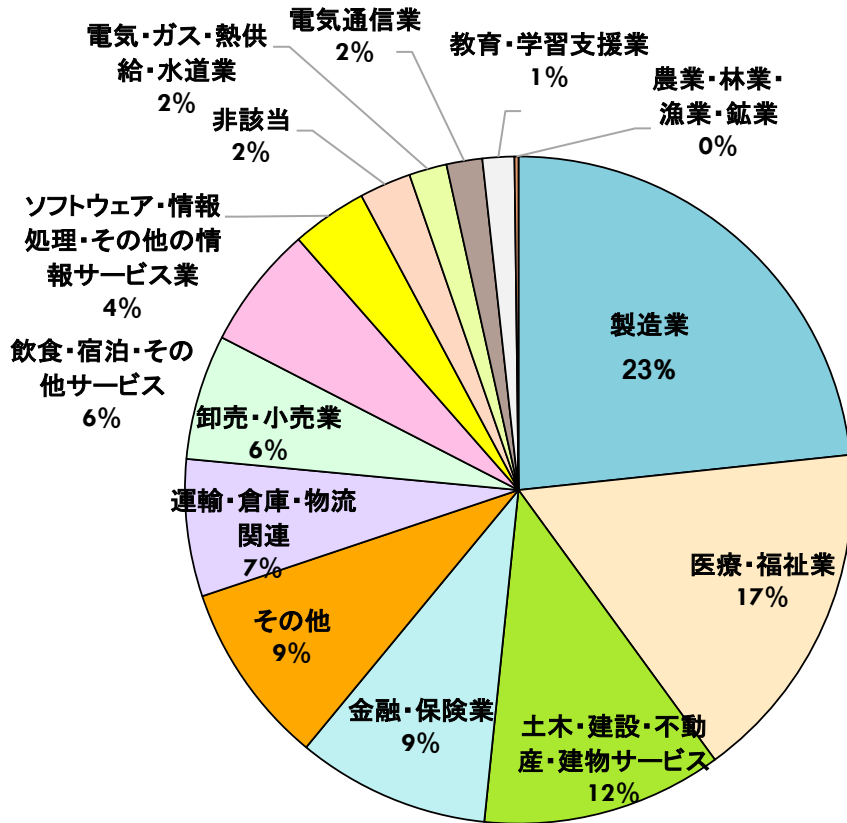
女性職業



夫婦の就労状況

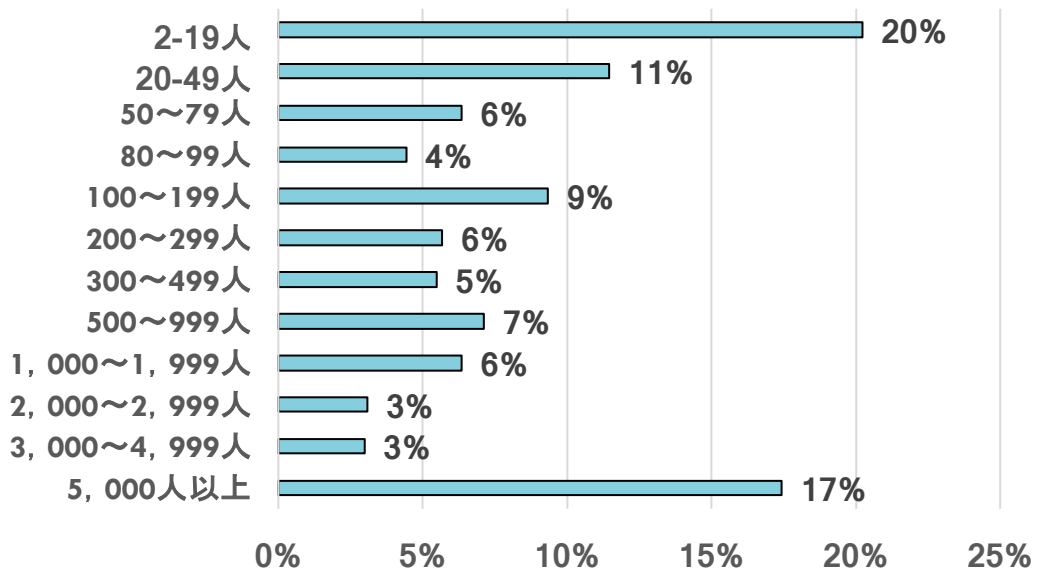


業種

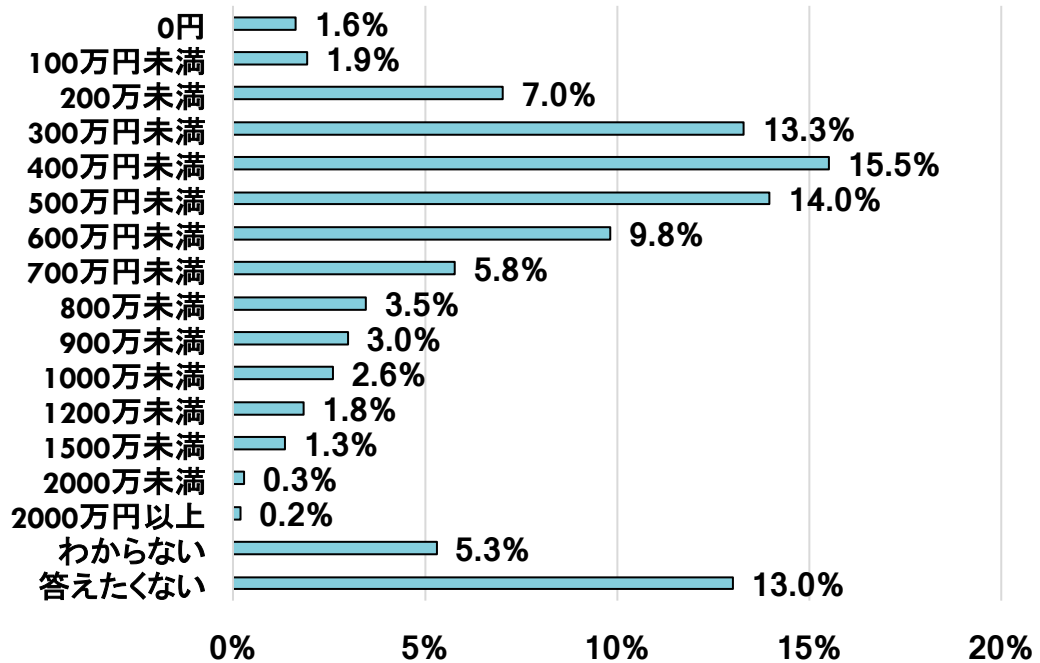


n=1,038

従業員規模

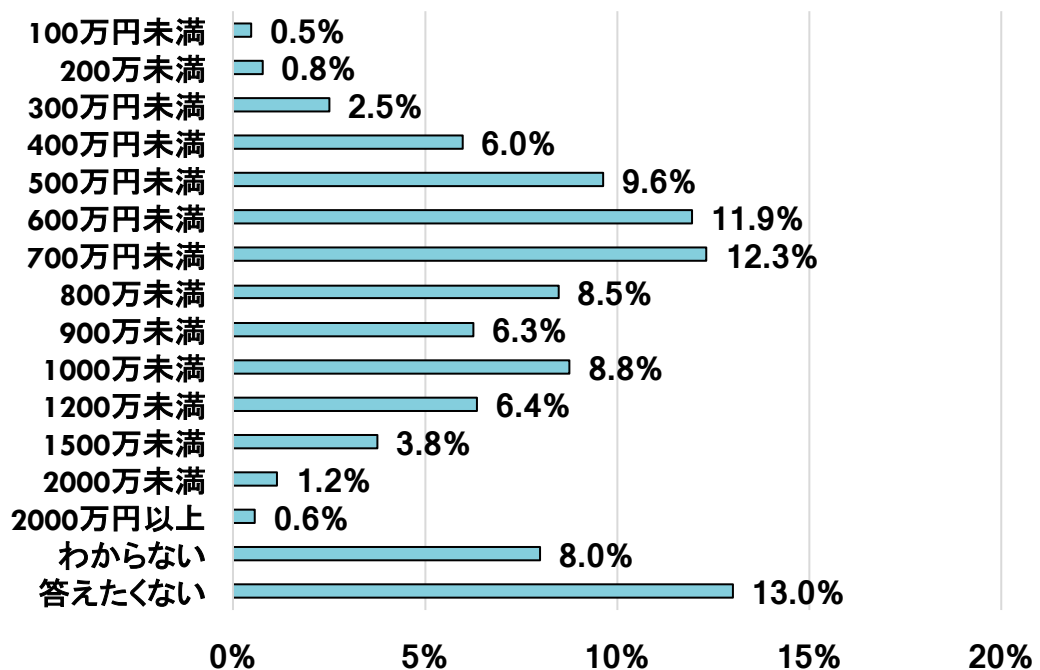


個人年収



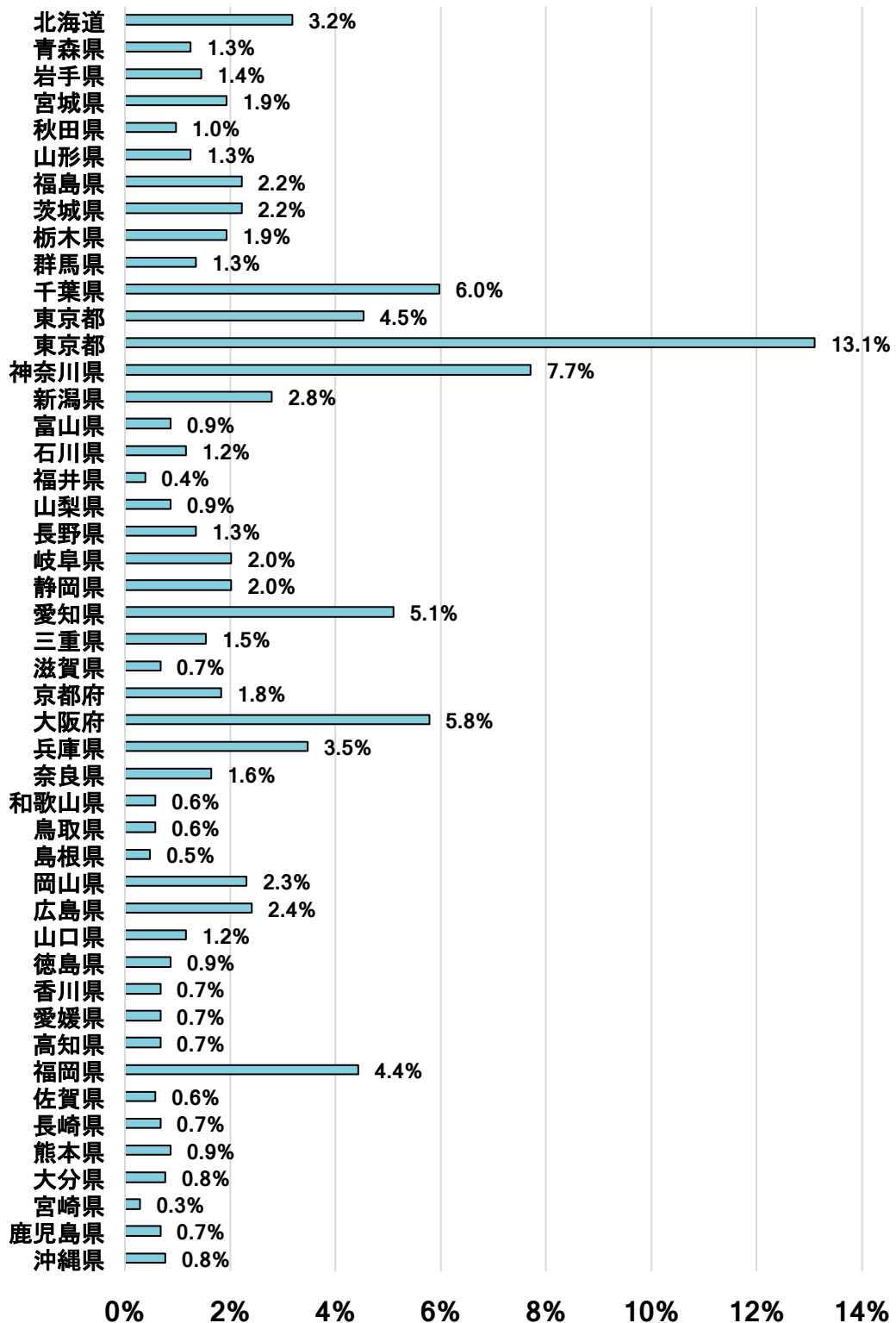
n=1,038

世帯年収



n=1,038

都道府県



n=1,038

1. 「人生100年時代」に対する意識

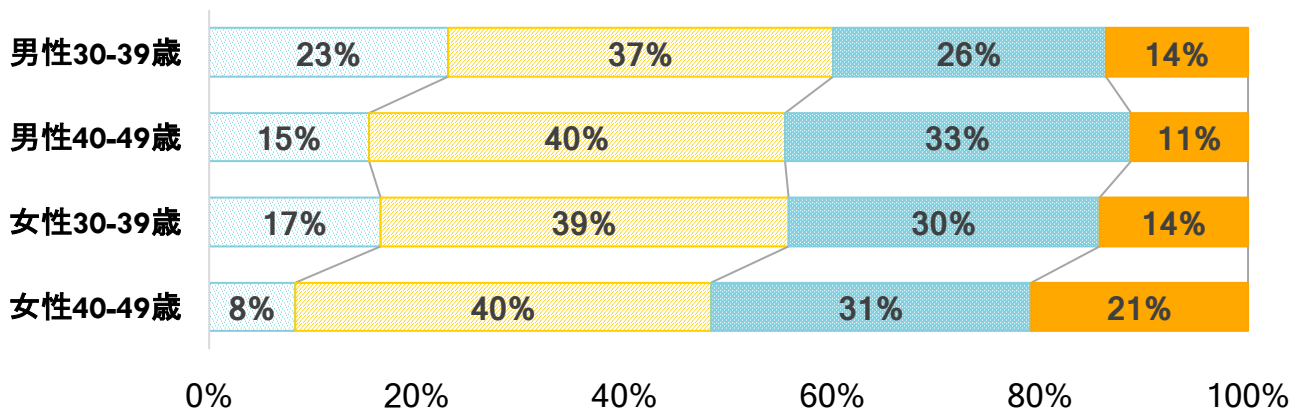
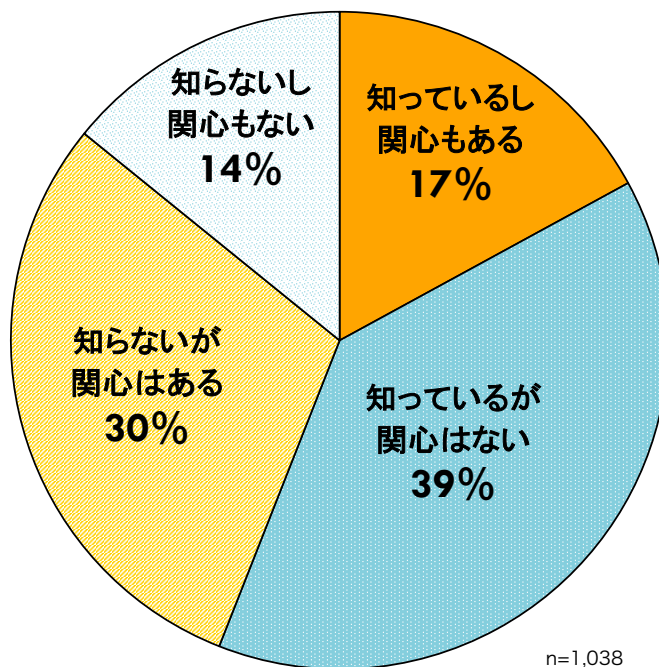
「人生100年時代」と言われますが、それに対してどのような意識をお持ちですか？最も近いものを一つ選んでください。

「人生100年時代」について、「知っている人」56%と「知らない人」44%は約半数ずつ、また、「関心がある人」47%と「関心がない人」53%も約半数ずつであった。

しかし、「知らない」か「関心はない」が83% (=39%+30%+14%) となり、また、「知っているが関心はない」と回答した人が「知っているし関心もある」「知っているが関心はない」と回答した人の約7割を占めている。

よって、子育て世代の「人生100年時代」に対する意識はまだ低いと推察される。

年代との間に有意な相関は認められず、性別との間にも相関はほとんど認められなかった。



□ 知らないし関心もない ■ 知らないが関心はある ■ 知っているが関心はない ■ 知っているし関心もある

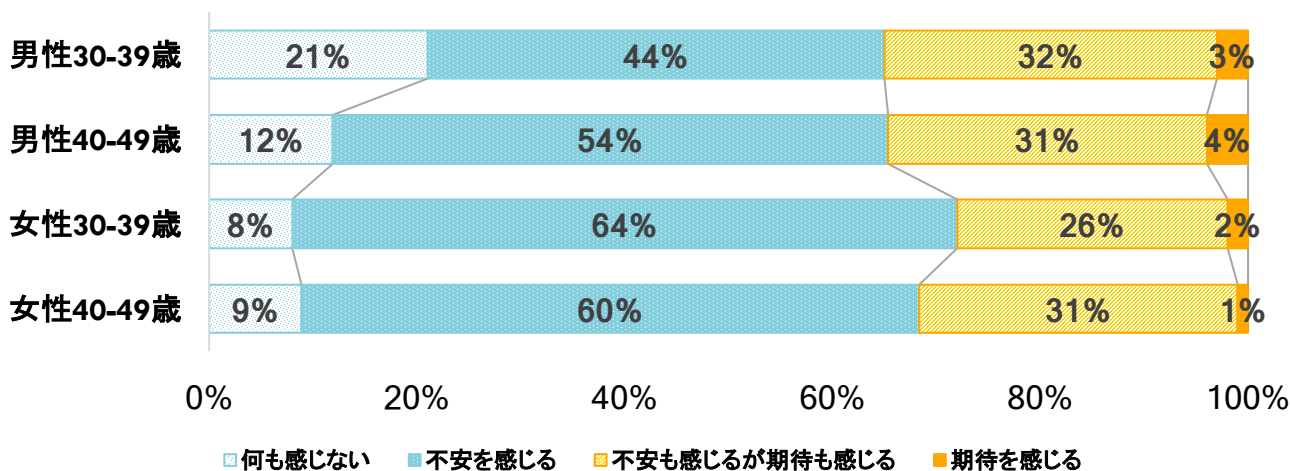
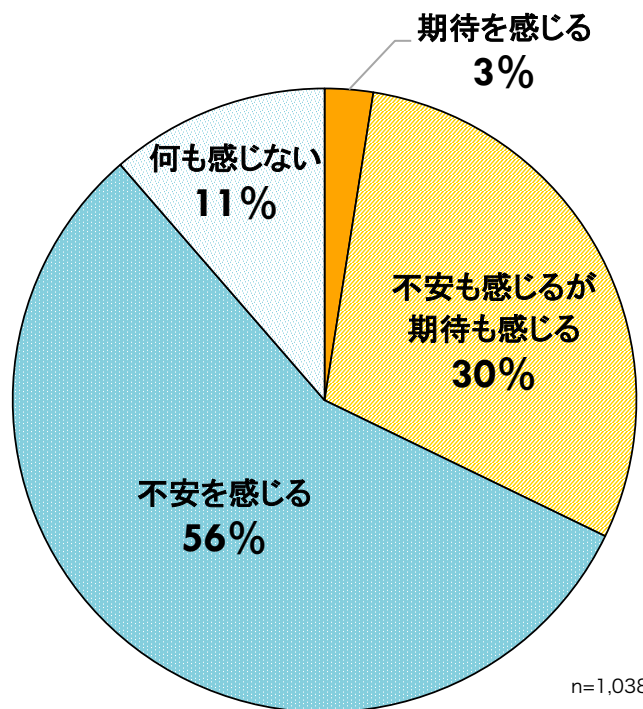
n=1,038 年代 p=n.s 性別 rs=-.062 p<.05

2. 「人生100年時代」への期待と不安

「人生100年時代」と聞いてどのように感じますか？最も近いものを一つ選んでください。

「人生100年時代」について、「不安を感じる」と回答した人が56%と過半数を占め、「不安も感じるが期待も感じる」と回答した人30%と合わせると約9割が不安を感じている。一方で、「期待を感じる」と回答した人は僅か3%であり、約1割は「何も感じてない」と回答している。

子育て世代の多くが「人生100年時代」に対して期待よりも不安を感じていることが分かった。性別、及び、年代との間に相関は認められなかった。



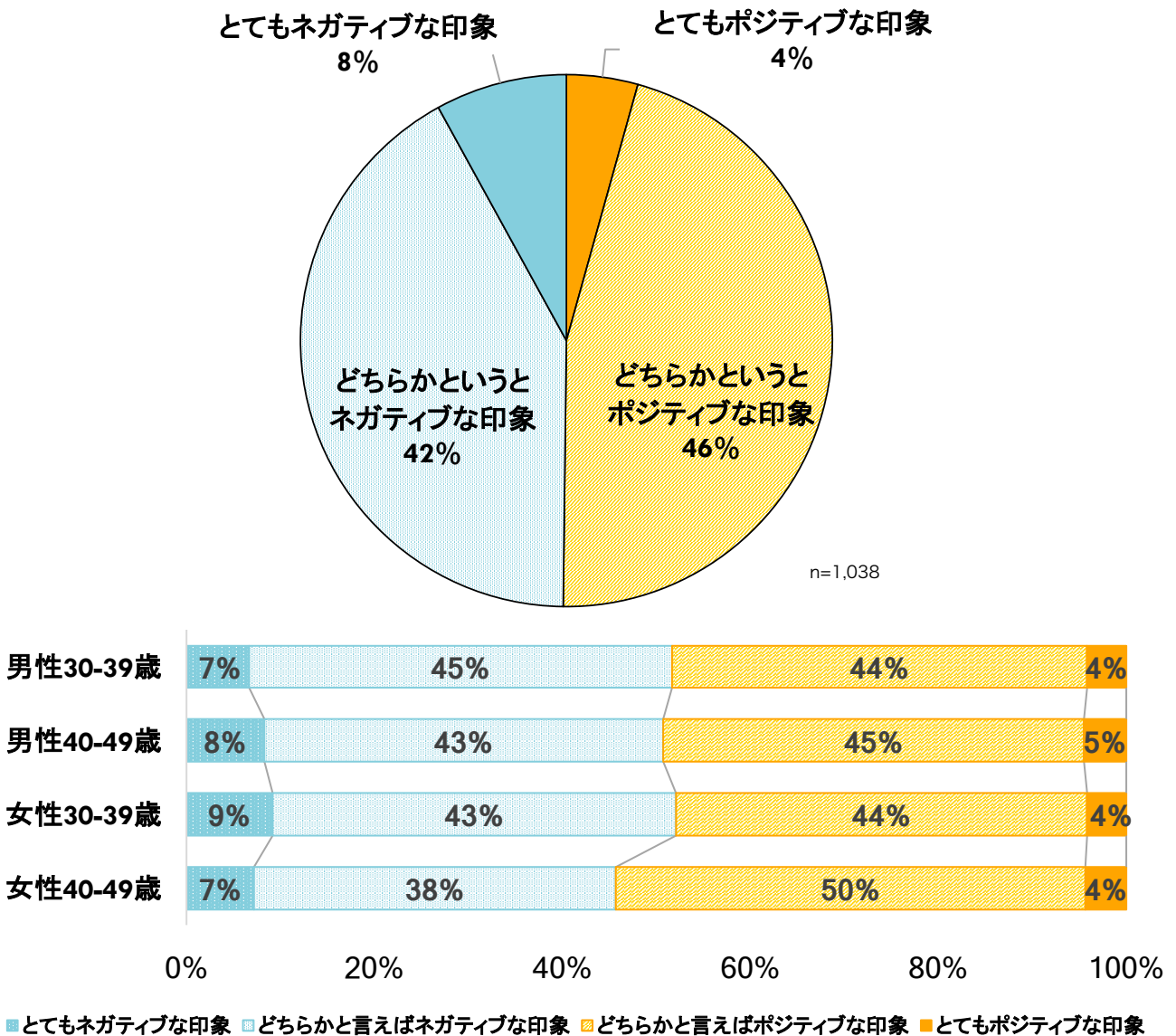
n=1,038 p=n.s.

3. 定年後の人生に対する印象

あなたは、定年後の人生について、ポジティブな印象を持っていますか？それとも、ネガティブな印象を持っていますか？一番近いものを一つ選んでください。

「人生100年時代」について子育て世代の約9割が不安を感じている一方で、「定年後の人生」については、「ネガティブな印象」と「ポジティブな印象」の占める割合はちょうど5割ずつであった。

「人生100年時代」と比較し、「定年後の人生」は、回答者自身の親や職場の上司など、定年後のイメージを重ね合わせられる存在がいるため容易に予想できるが、「人生100年時代」は未知なる世界で予想できないことが不安の一因と推察される。また、ポジティブな印象が、現在の親や上司等の良い定年ライフイメージから来ているのだとしたら、子育て世代が定年を迎える時代とは大きく異なるであろうから、楽観的にイメージしている危険性も考えられる。性別、及び、年代との間に相関は認められなかった。



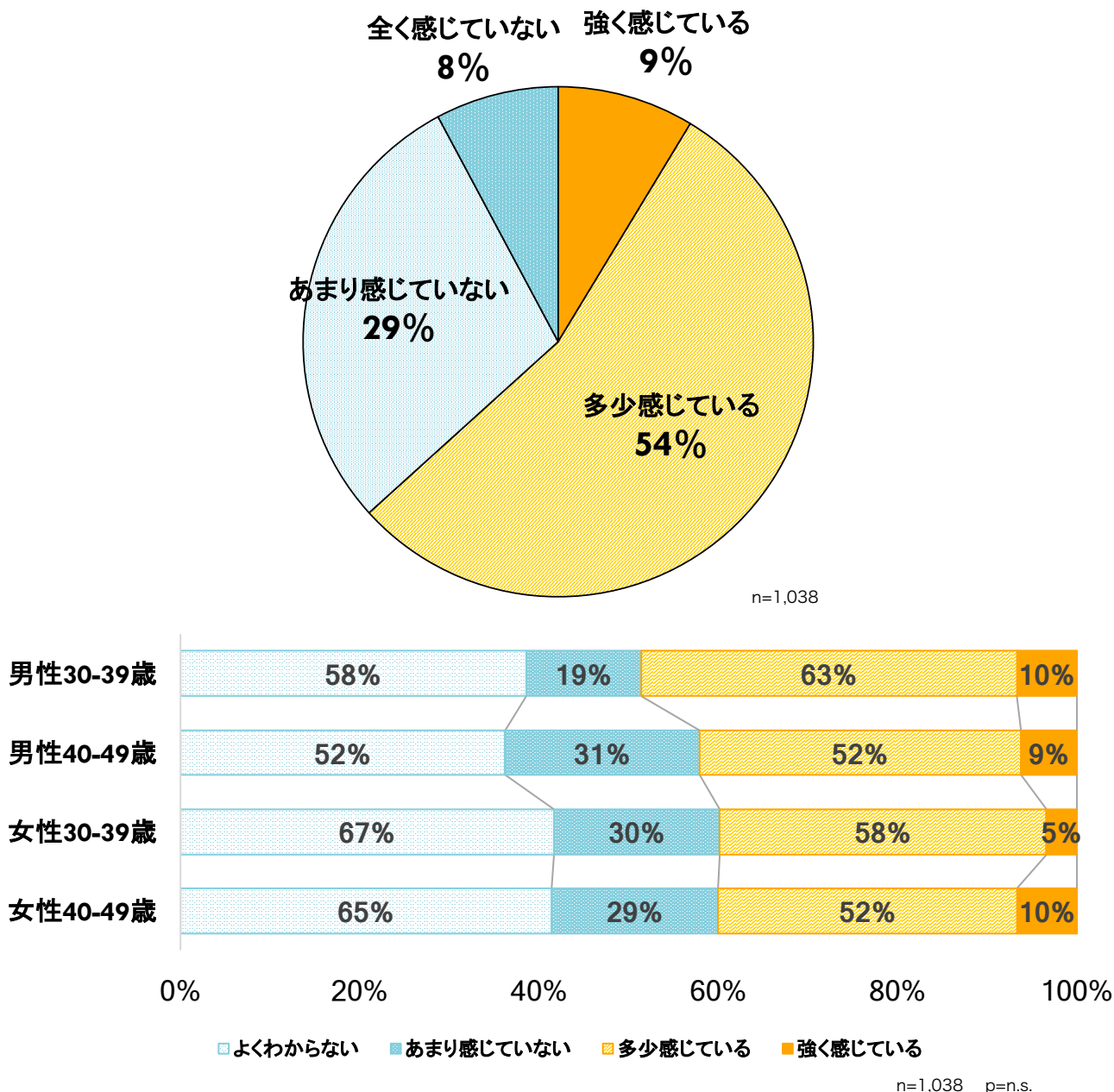
n=1,038 p=n.s.

4. 現在の仕事へのやりがい

あなたは、現在の仕事にやりがいを感じていますか？一番近いものを一つ選んでください。

現在の仕事に対するやりがいを「強く感じている」と回答した人は全体の僅か9%であるが、「多少感じている」と回答した人54%と合わせると約6割以上が仕事にやりがいを感じていることが分かった。

一方、「あまり感じていない」29%、「全く感じていない」8%と合わせると、子育て世代の約4割が現在の仕事にやりがいを感じていない。性別、及び、年代との間に相関は認められなかった。

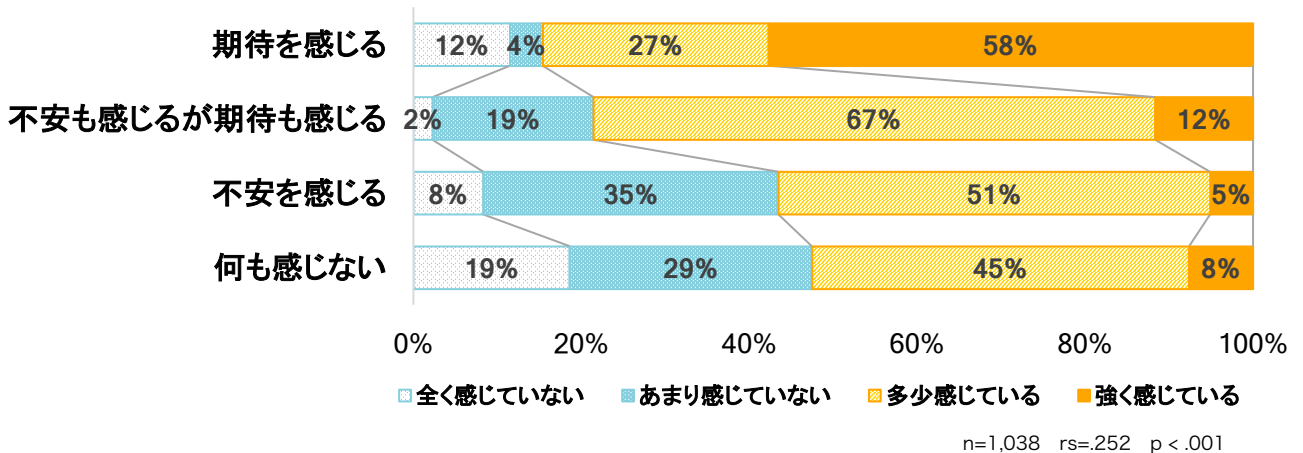


「現在の仕事に対するやりがい」と「人生100年時代」への意識、「定年後の人生に対する印象」との関係を見てみる。

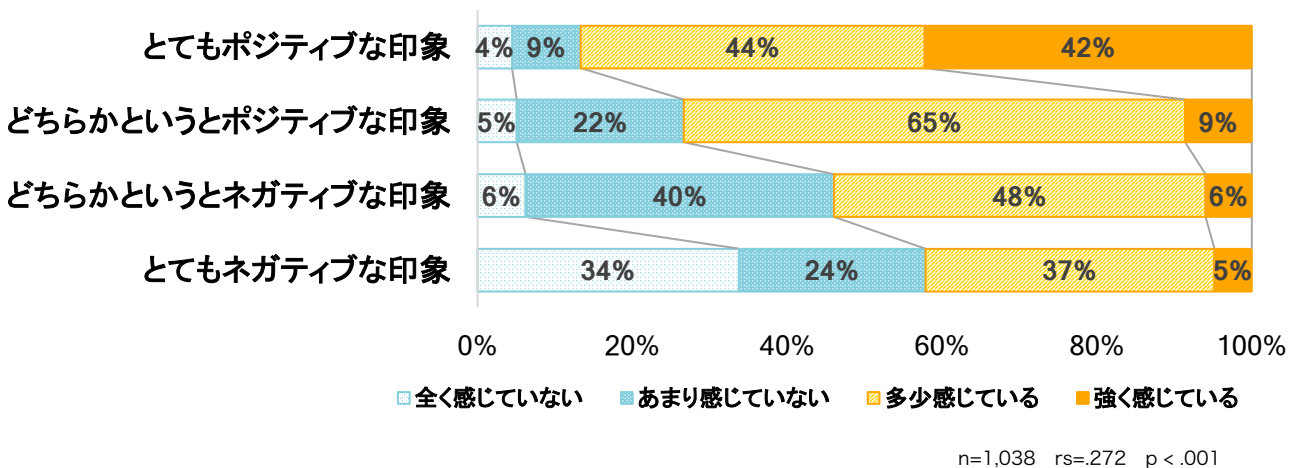
「人生100年時代への期待と不安」と「現在の仕事に対するやりがい」との間に正の相関(rs=.252)が認められた。また、「定年後の人生に対する印象」と「現在の仕事に対するやりがい」との間に正の相関(rs=.272)が認められた。

つまり、現在の仕事に対してやりがいを感じ、今が充実していると「人生100年時代」や「定年後の人生」に対する期待が高くなるということが分かる。

人生100年時代への期待と不安 * 現在の仕事に対するやりがい



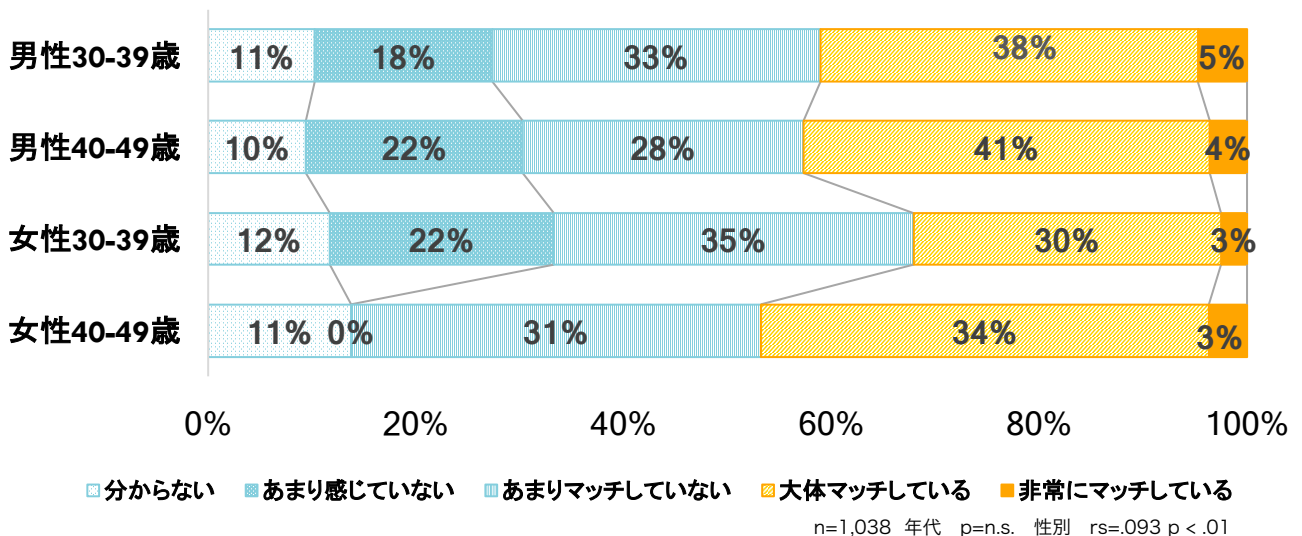
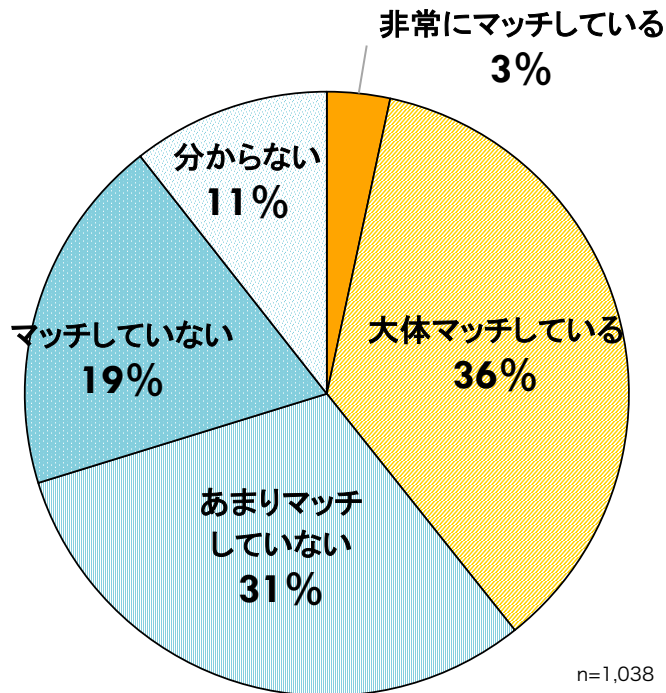
定年後の人生に対する印象 * 現在の仕事に対するやりがい



5. 現在の仕事と将来のキャリア展望

あなたが現在行なっている仕事はあなたが考えている将来のキャリアとマッチしていますか？最も近いものを一つ選んでください。

現在の仕事が将来のキャリアと「非常にマッチしている」と回答した人は僅か3%であり、「大体マッチしている」と回答した人36%と合わせても4割程度であった。一方、「あまりマッチしていない」31%、「マッチしていない」19%、「分からない」11%を合わせると、子育て世代の約6割が現在の仕事と将来のキャリア展望に不透明感があると推察される。年代との間に有意な相関は認められず、性別との間にも相関はほとんど認められなかった。



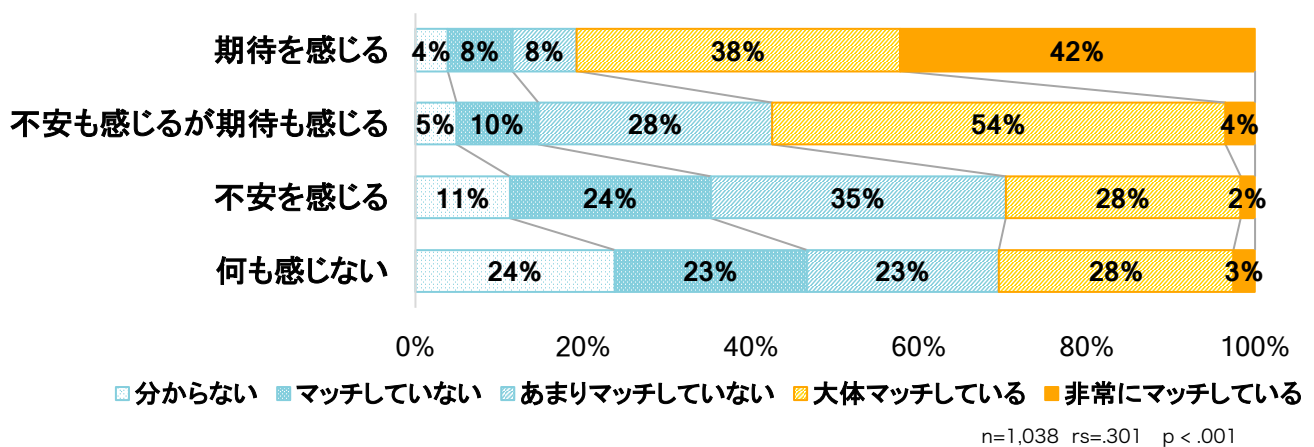
「現在の仕事と将来のキャリア展望」と「人生100年時代」への意識、「定年後の人生に対する印象」との関係を見てみる。

「人生100年時代への期待と不安」と「現在の仕事と将来のキャリア展望」との間に、正の相関(rs=.301)が認められた。また、「定年後の人生に対する印象」と「現在の仕事と将来のキャリア展望」との間にも正の相関(rs=.282)が認められた。

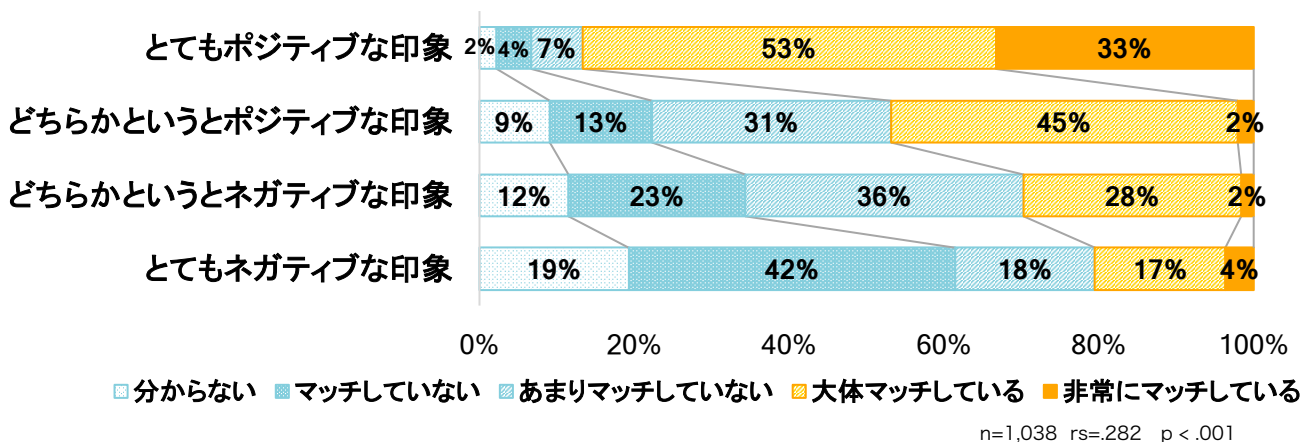
つまり、現在の仕事と将来のキャリア展望とマッチしていると、「人生100年時代」や「定年後の人生」に対する期待が高くなる傾向があることが分かった。

定年後の人生以上に、人生100年時代は予想ができないが、現在の仕事の先に将来のキャリアが見いだせるようになると、人生100年時代への期待も高くなると推察される。

人生100年時代への期待と不安 * 現在の仕事と将来のキャリア展望



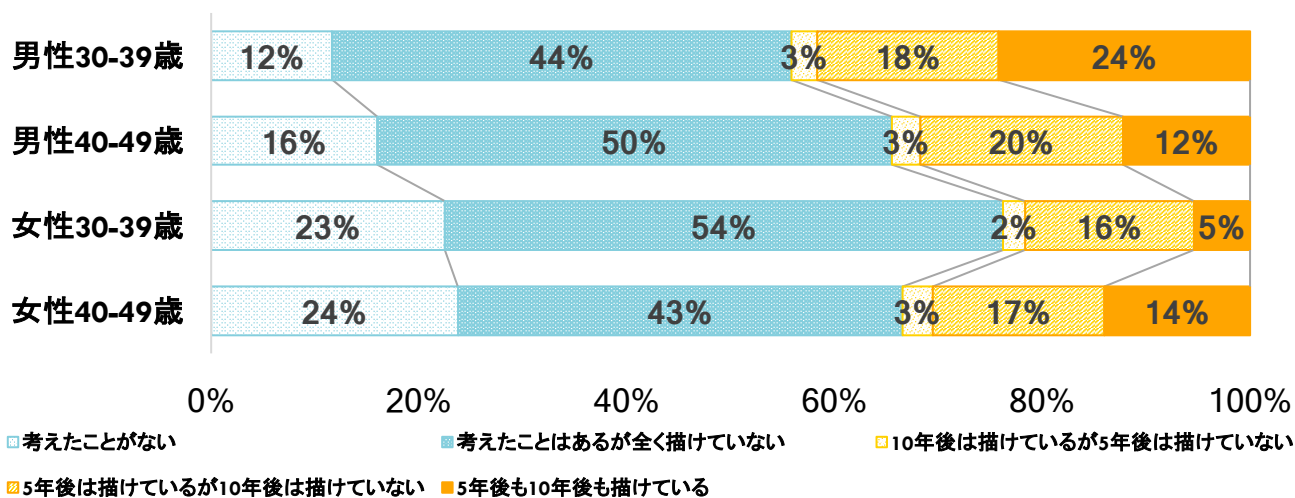
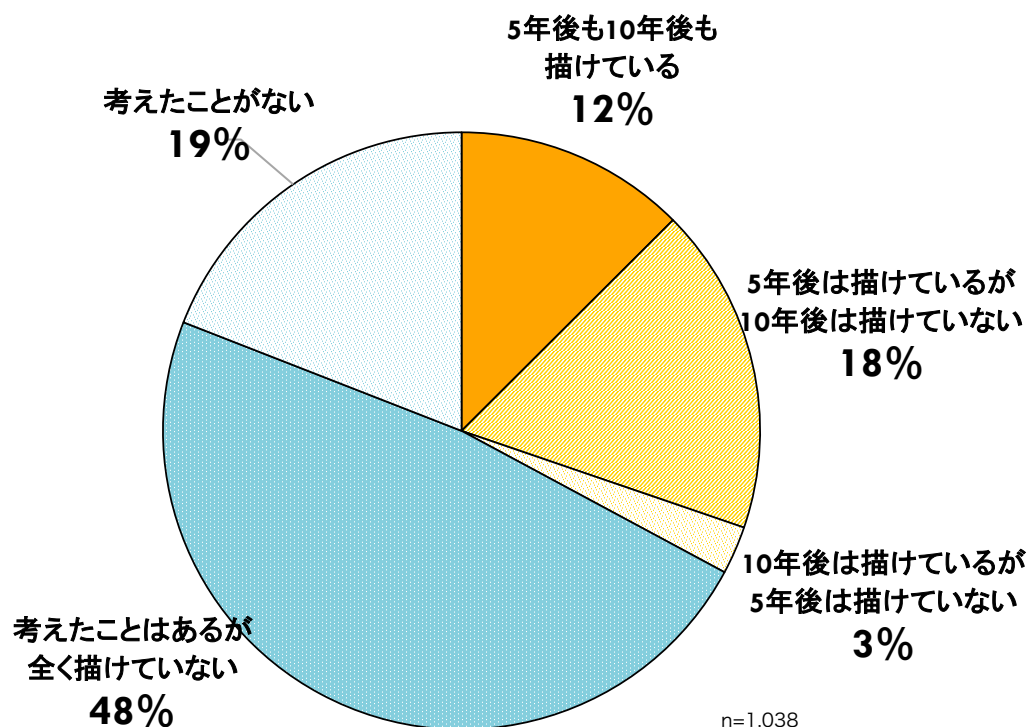
定年後の人生に対する印象 * 現在の仕事と将来のキャリア展望



6. 5年後・10年後のキャリアプラン

あなたは5年後、10年後のキャリアプランを描けていますか？最も近いものを一つ選んでください。

「考えたことはあるが全く描けていない」48%、「10年後は描けていない」18%、「5年後は描けていない」3%を合わせると、子育て世代の約7割が「5年後、10年後のキャリアプランについて」描けていない。また、「考えたことがない」人も約2割であった。年代との間に有意な相関は認められず、性別との間にも相関はほとんど認められなかった。



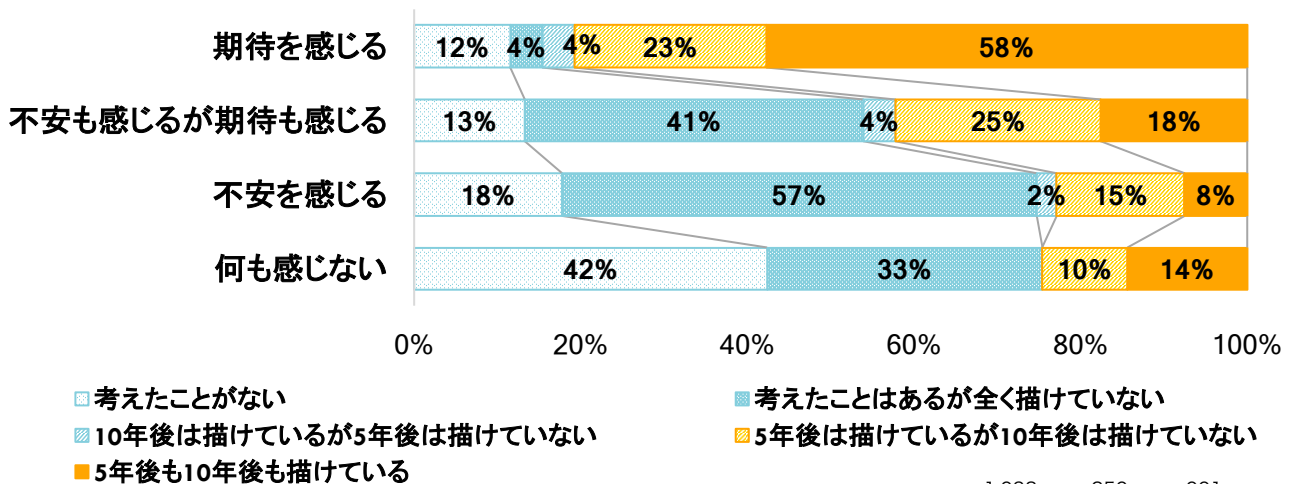
n=1,038年代 p=n.s. 性別 rs=.115 p<.001

「5年後・10年後のキャリアプラン」と「人生100年時代」への意識、「定年後の人生に対する印象」との関係を見てみる。

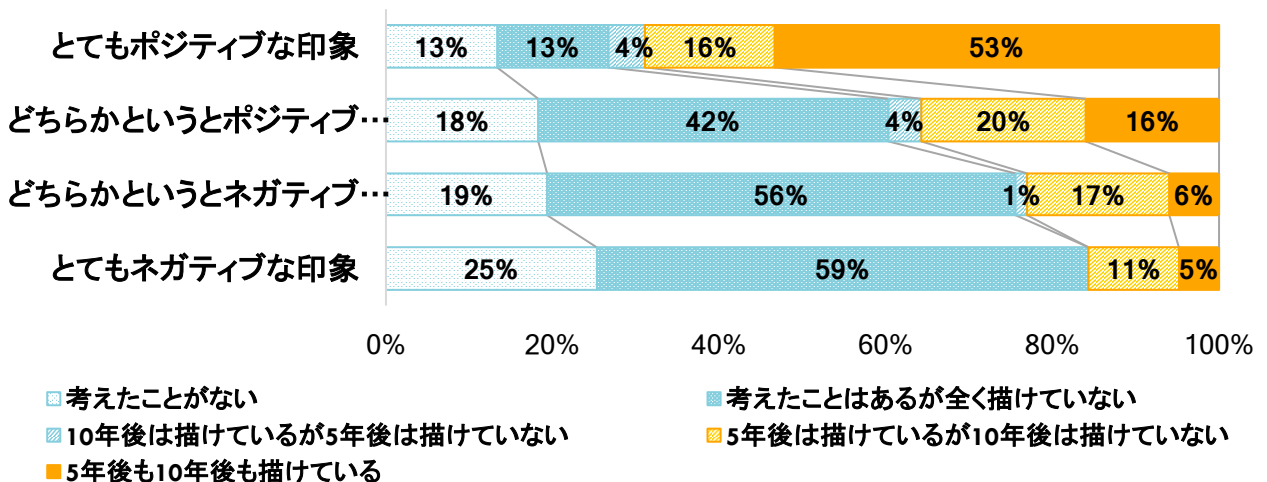
「人生100年時代への期待と不安」と「5年後・10年後のキャリアプラン」との間に正の相関(rs=.250)が認められた。「定年後の人生に対する印象」と「5年後・10年後のキャリアプラン」との間に正の相関(rs=.207)が認められた。

5年後、10年後といった近い将来のキャリアプランを描けていると、「定年後の人生」より不透明と感じがちな「人生100年時代」へ期待を感じる傾向があることが分かった。逆に、近い将来も描けないと人生100年時代への漠然とした不安に繋がると推察される。

100年時代への期待と不安 * 5年後・10年後のキャリアプラン



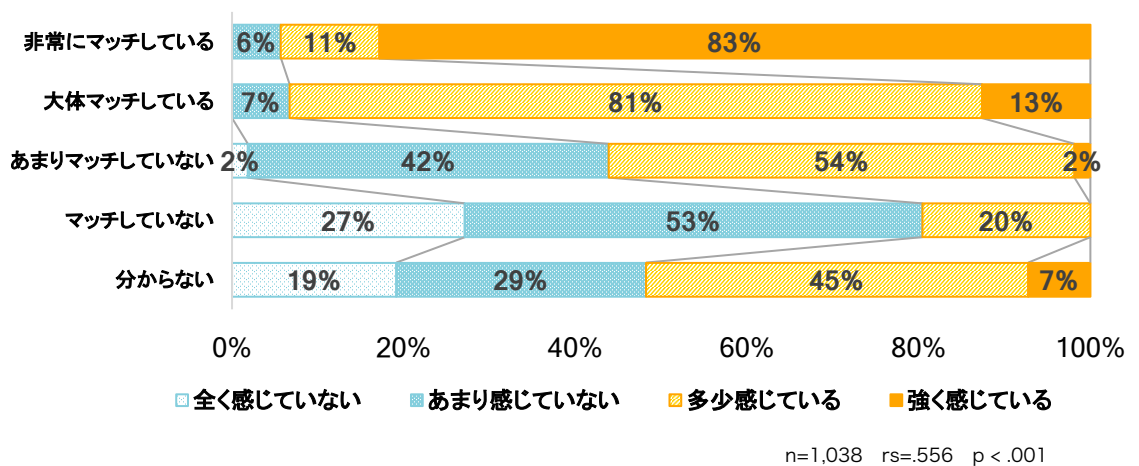
定年後の人生に対する印象 * 5年後・10年後のキャリアプラン



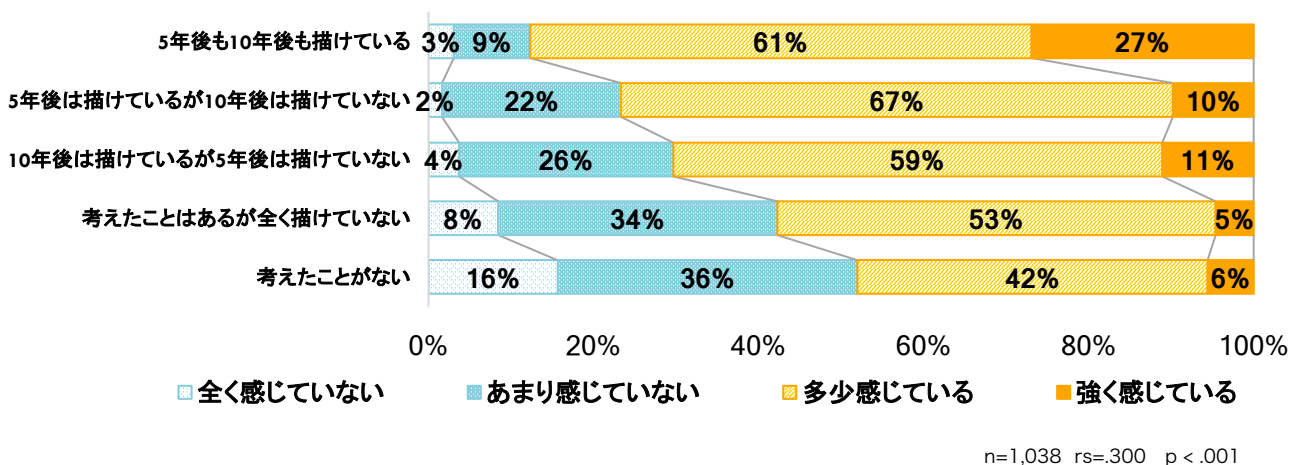
ここまで見てきたように、「人生100年時代への期待と不安」に影響を与えるのは「現在の仕事に対するやりがい」「現在の仕事と将来のキャリア展望」「5年後・10年後のキャリアプラン」であることがわかった。よって、その項目同士の関係について検討する。

「現在の仕事に対するやりがい」は、「現在の仕事と将来のキャリア展望」との間に正の相関($rs=.556$)が認められた。また、「5年後・10年後のキャリアプラン」との間にも正の相関($rs=.300$)が認められる。つまり、現在の仕事に「やりがい」を感じているか否かが、その先のキャリア展望やキャリアプランを描く上で重要であると考えられる。

現在の仕事と将来のキャリア展望 * 現在の仕事に対するやりがい



5年後・10年後のキャリアプラン * 現在の仕事に対するやりがい

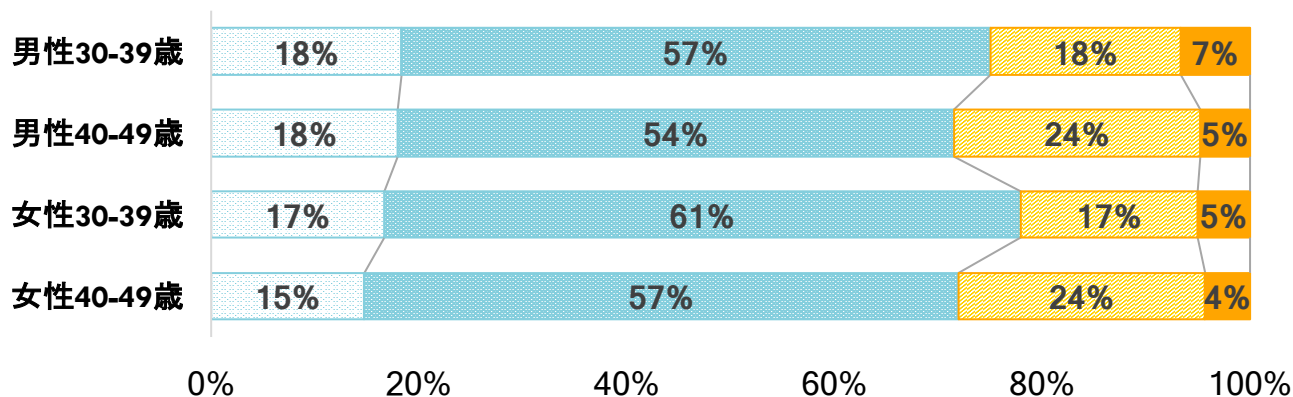
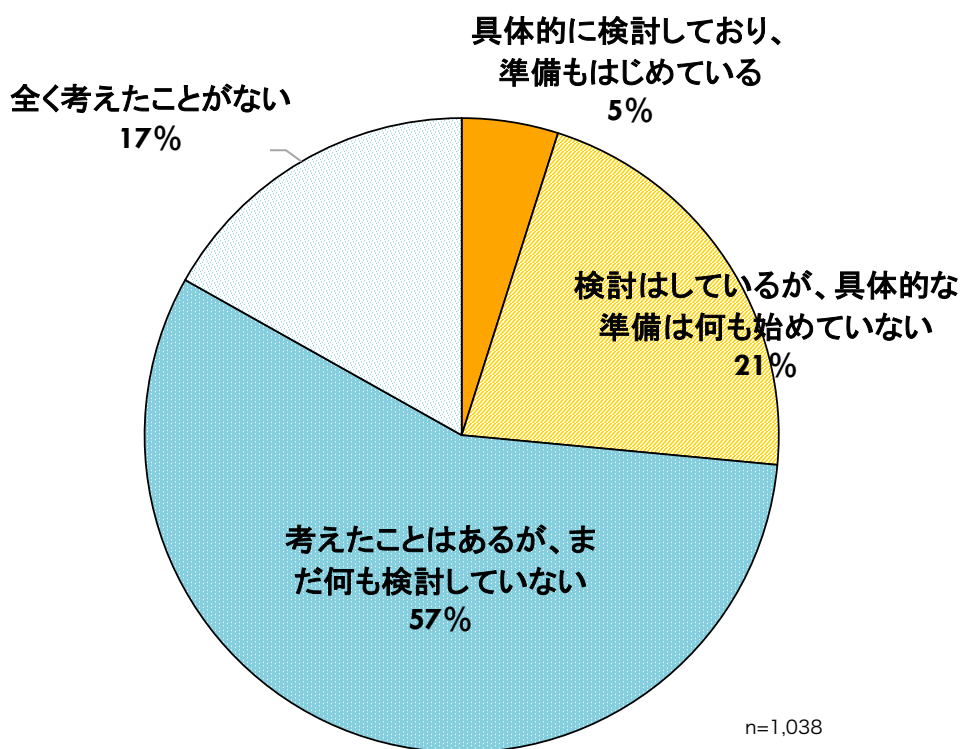


7. 定年後の人生の計画

あなた自身は定年後にどのように人生を過ごすかを具体的に考えていますか？

「定年後の人生」について、「具体的に検討しており準備も始めている」と回答した人は僅か5%。「考えてたことはあるが、まだ何も検討していない」57%、「全く考えたことがない」17%と合わせると、子育て世代の7割以上の人々が「定年後の人生」について考えていないことが分かった。

性別、及び、年代との間に相関は認められなかった。



- 全く考えたことがない
- 考えたことはあるが、まだ何も検討していない
- ▨ 検討はしているが、具体的な準備は何も始めていない
- 具体的に検討しており、準備も始めている

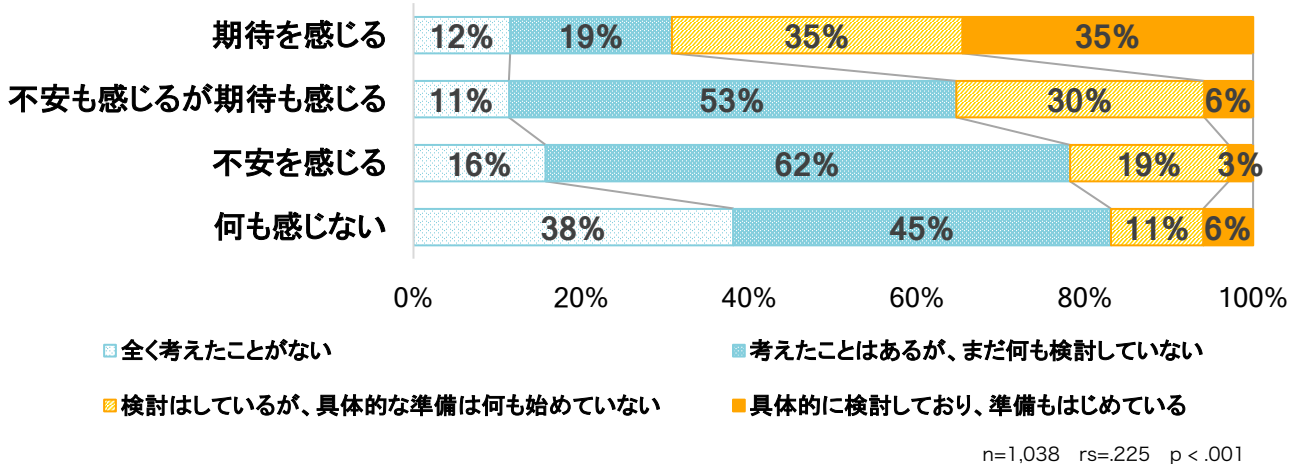
n=1,038 p=n.s.

「定年後の人生の計画」と「人生100年時代」への意識、「定年後の人生に対する印象」との関係を見てみる。

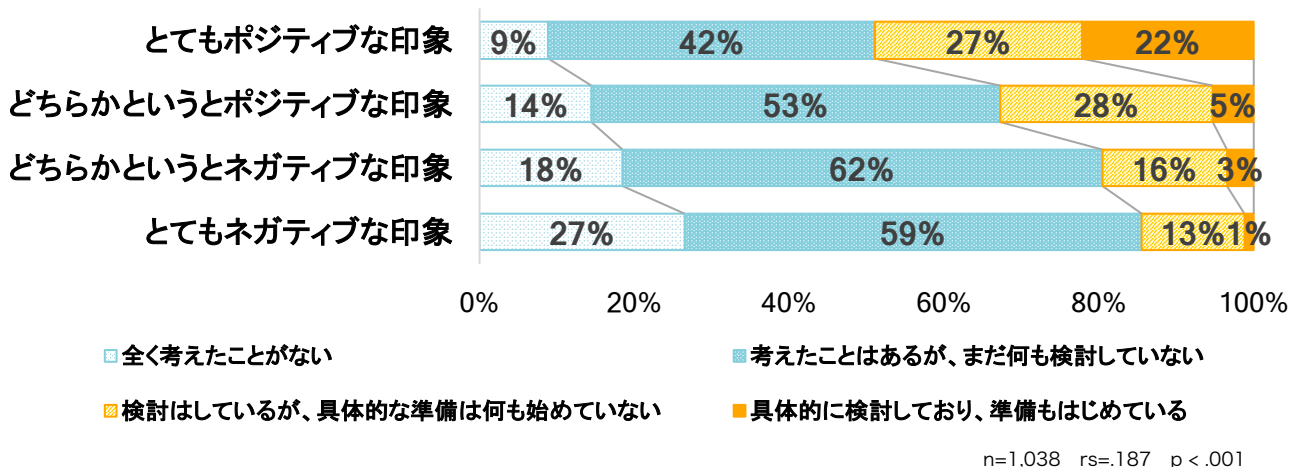
「人生100年時代への期待と不安」と「定年後の人生の計画」との間に正の相関($rs=.225$)が認められた。一方、「定年後の人生に対する印象」と「定年後の人生の計画」との間には相関がほとんど認められなかった($rs=.187$)。

「定年後の人生に対する印象」は、回答者自身の親や職場の上司など、定年後のイメージを重ね合わせられる存在がいるため、自身で「定年後の人生の計画」がなくても、定年後にはポジティブな印象を持つことが出来るが、定年よりも見通しのつきにくい「人生100年時代」への期待を高めるに至るには、自身で「定年後の人生の計画」がある程度準備できている主体性が必要であると考えられる。

100年時代への期待と不安 * 定年後の人生の計画



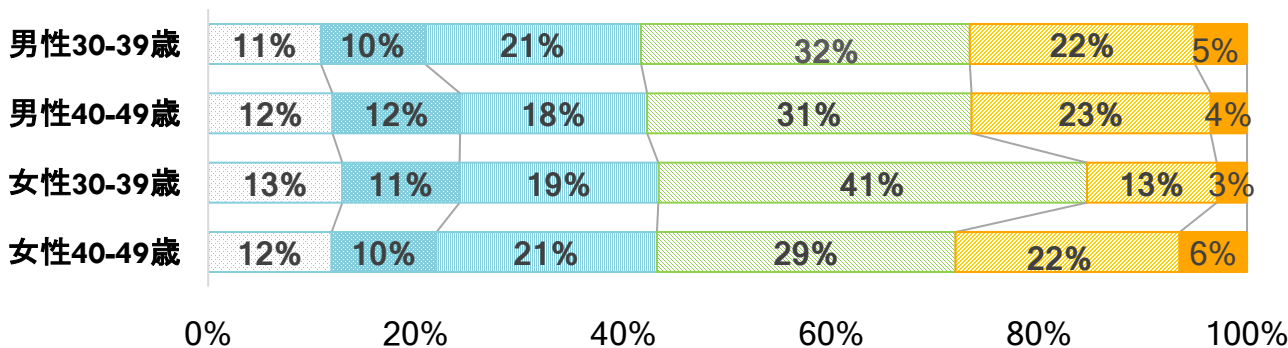
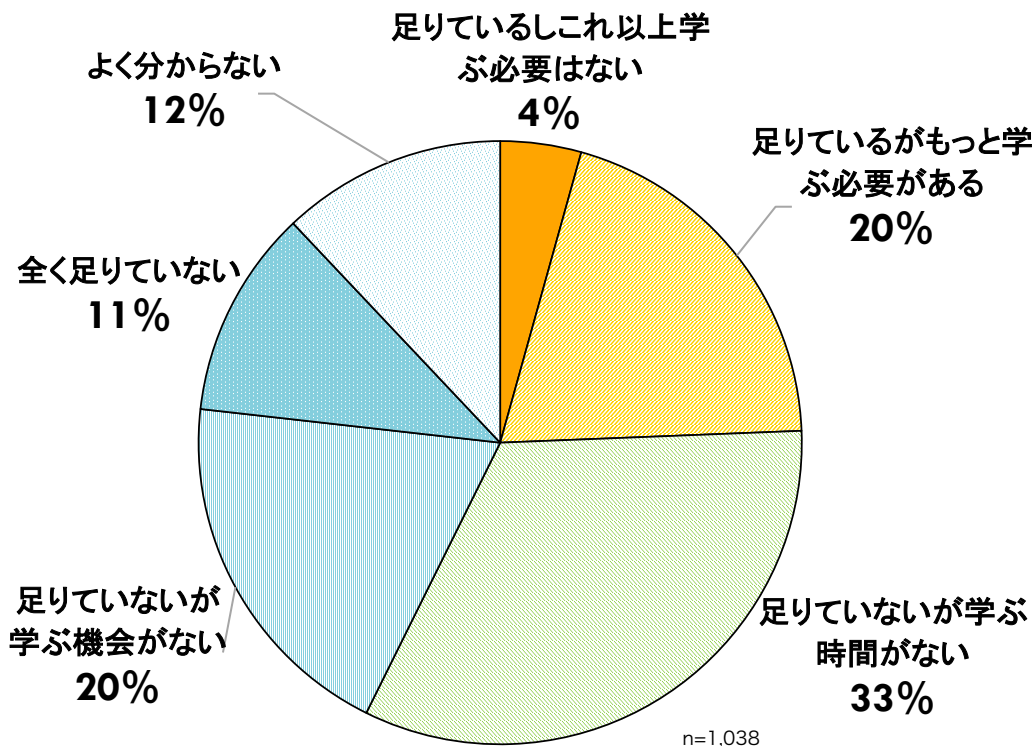
定年後の人生に対する印象 * 定年後の人生の計画



8. 学びの機会

あなたは自分自身が今の仕事に対して職場内外において学びの機会が足りていると感じますか？最も近いものを一つ選んでください。

「足りているがもっと学ぶ必要がある」20%、「足りていないが学ぶ時間がない」33%、「足りていないが学ぶ機会がない」20%、「全く足りていない」11%を合わせると、子育て世代の8割以上が「学ぶ必要がある」と感じている。しかし、半数以上が「学ぶ時間」や「学ぶ機会」が不足していると感じている。特に女性30-39歳では「学ぶ時間がない」が41%となっており、他の性別・年代と比較して高い。性別、及び、年代との間に相関は認められなかった。

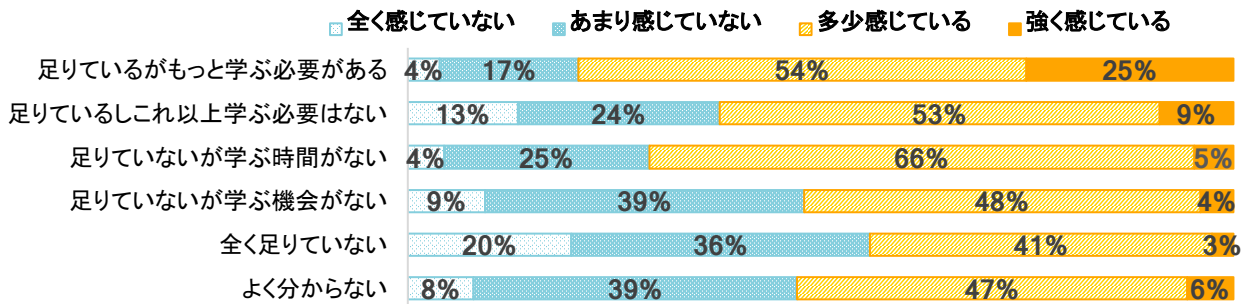


■ よく分からない
 ■ 全く足りていない
 ■ 足りていないが学ぶ機会がない
■ 足りていないが学ぶ時間がない
 ■ 足りているがもっと学ぶ必要がある
 ■ 足りているしこれ以上学ぶ必要はない

n=1,038 p=n.s.

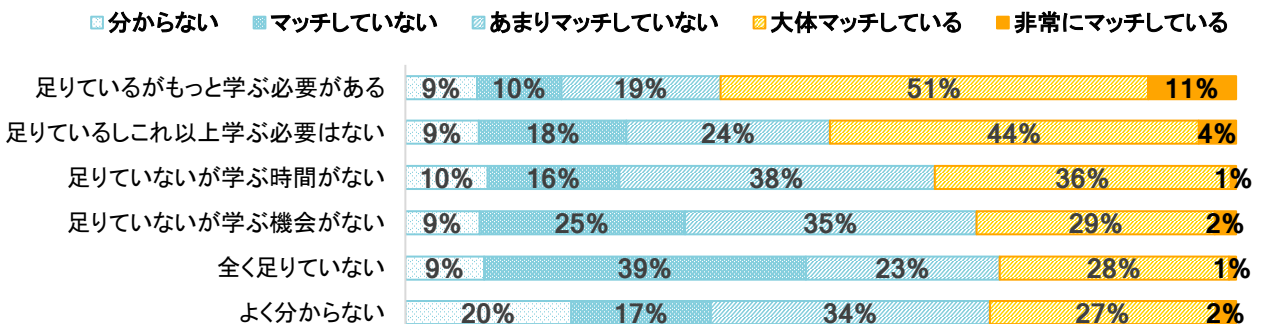
「学びの機会」に対する認識と「人生100年時代への期待と不安」はほとんど相関が認められなかった ($rs=.182$ $p < .001$)。しかし、「人生100年時代への期待と不安」に影響を与える項目である「現在の仕事に対するやりがい」、「現在の仕事と将来のキャリアとの関連」「5年後・10年後のキャリアプラン」との間には下記のように相関が認められた。このことから、「学びの機会」に対する認識は「人生100年時代への期待と不安」に間接的に影響を与えていると推察される。

学びの機会 * やりがい



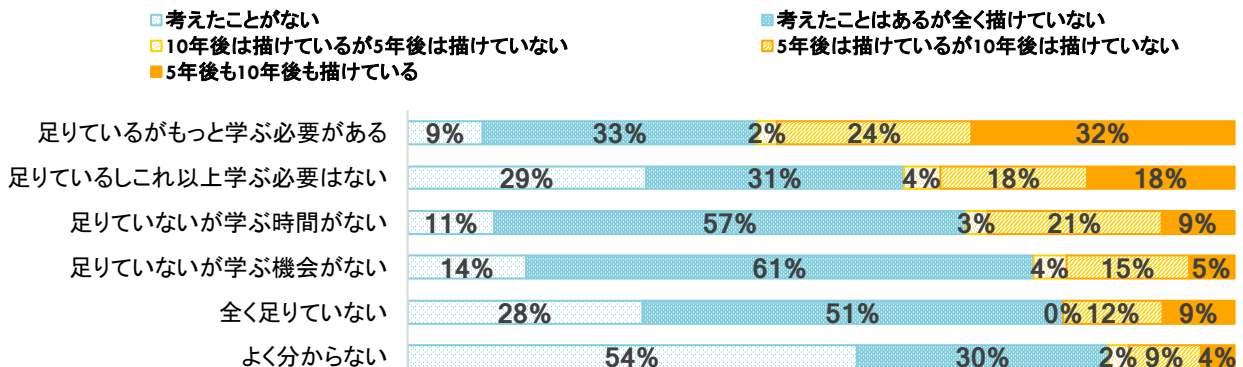
n=1,038 rs=.275 p < .001

学びの機会 * 現在の仕事と将来のキャリア展望



n=1,038 rs=.230 p < .001

学びの機会 * 5年後・10年後のキャリアプラン

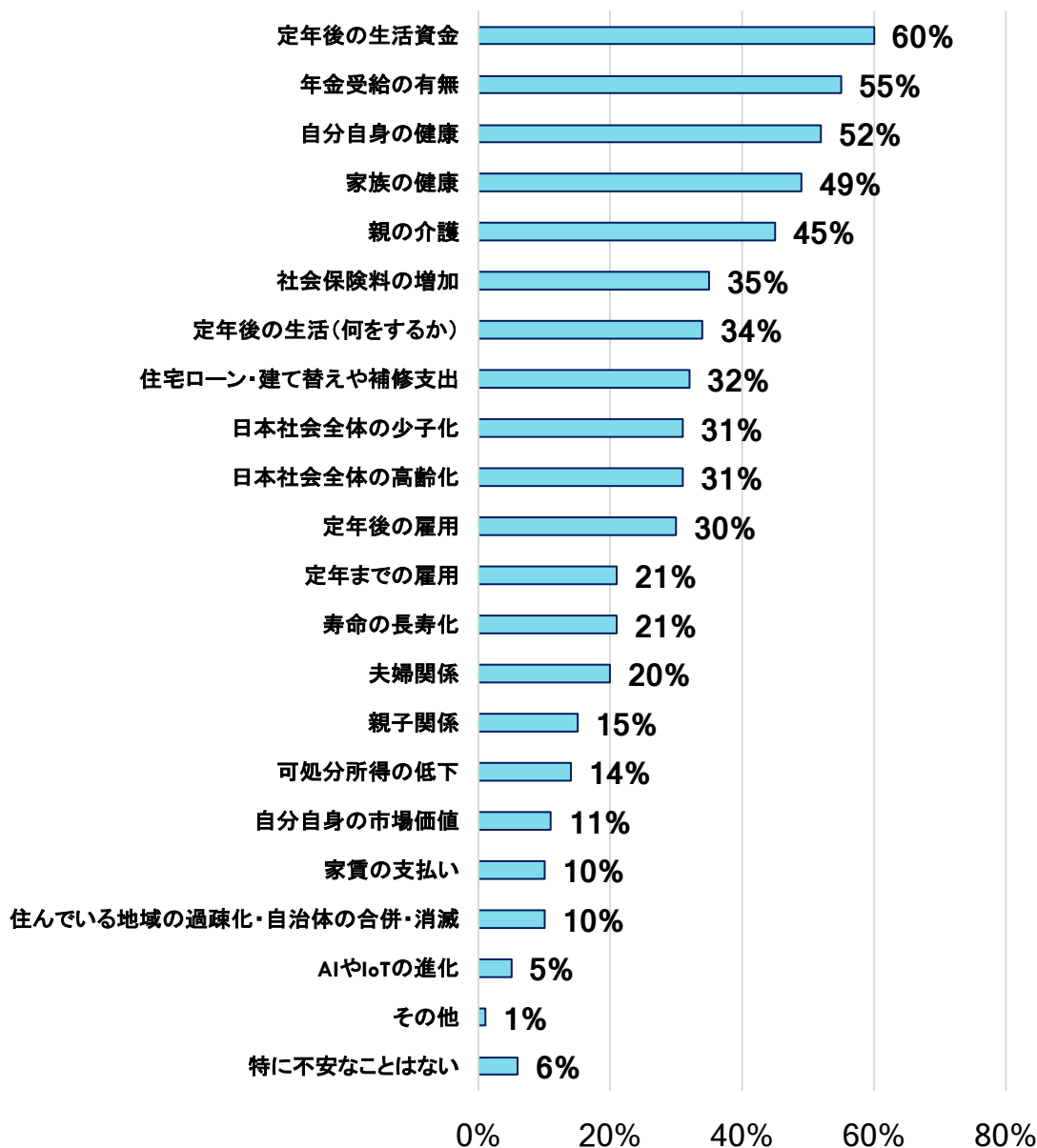


n=1,038 rs=.352 p < .001

9. 今後の人生に関して不安なこと

あなたの今後の人生に関して「不安」に感じるのは何ですか？以下から、当てはまるものをすべてお答えください。「その他」を選択した場合は具体的に記入ください（複数回答）。

「定年後の生活資金」60%、「年金受給の有無」55%、「社会保険料の増加」35%、「住宅ローン・建て替えや補修支出」32%などの金銭面への不安、「自分自身の健康」52%、「家族の健康」49%、「親の介護」45%などの健康面への不安を感じている人が多いことが分かる。



n=1,038

その他：

人口減少による日本経済、国力の低下、お金、子どもの学校や就職、子どもの将来、実家の処分

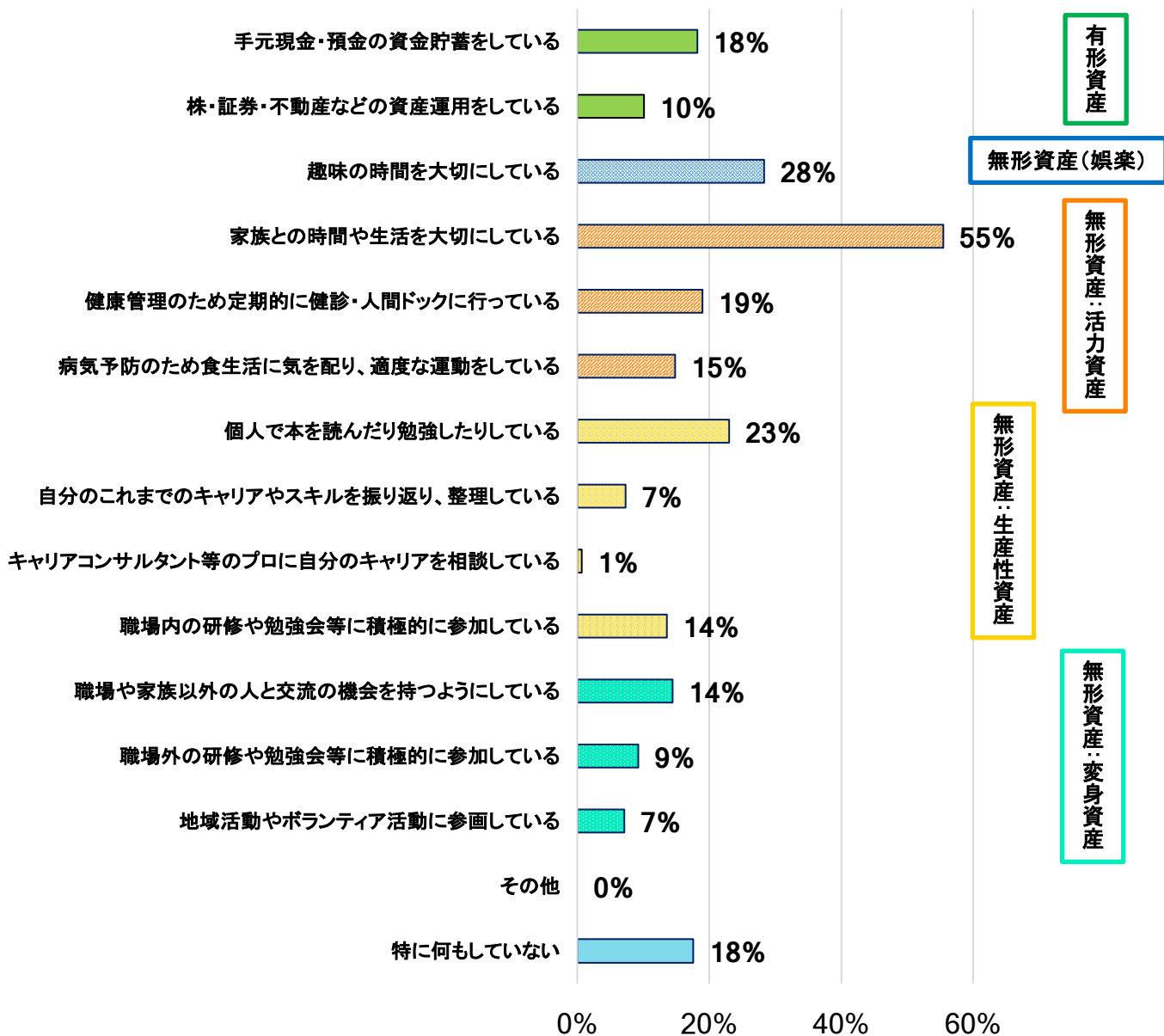
10. 人生やキャリアのために行っていること

あなたは自分自身の人生やキャリアのために何か行っていますか？以下から、当てはまるものを全て選んでください。「その他」を選択した場合は具体的に記入ください。

自分自身の人生やキャリアのために行っている行動について、「LIFE SHIFT(著リンダ・グラットン)」で紹介されている「有形資産」「無形資産」などに分類して検討する。

「9 今後の人生について不安なこと」において挙げられていた「金銭面への不安」については、「有形資産」を増やす行動は2割を切っている。また、「健康への不安」に対しても、「無形資産：活力資産」を増やす行動は、「家族との時間や生活を大切にしている」55%こそ高い回答を得ているが、健康管理や予防の行動は2割を切っていた。

このように、子育て世代は、不安は感じているものの、実際に行動している人は少ないことが分かる。



n=1,038

12. 転職・副業について

社会人になってから今までに、あなたは、実際に転職や副業（もしくは兼業・複業）をした経験がありますか？また、関心はありますか？最も近いものを一つ選んでください。

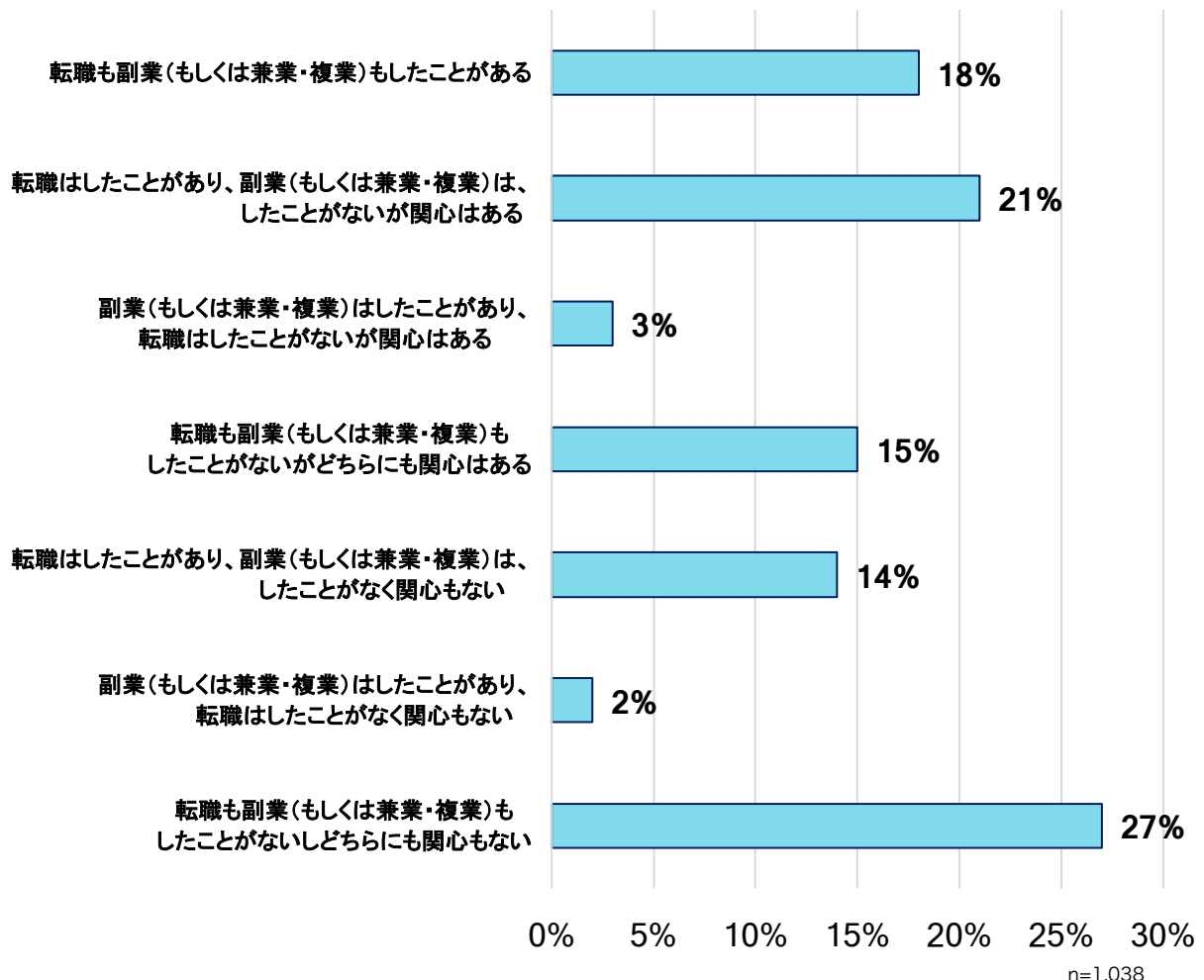
一般的に日本人は「1つの仕事に収入ややりがいの全てを求める傾向」にあり、生涯で複数のキャリアを持つ「マルチステージ」（「LIFE SHIFT（リンダ・グラットン著）」）への移行は難しいと指摘されることが多い。そこで、転職などの経験と関心について聞いた。

転職をしたことがある人は半数以上（「転職も副業（もしくは兼業・複業）もしたことがある」18%+「転職はしたことがあり、副業（もしくは兼業・複業）はしたことがないが関心はある」21%+「転職はしたことがあり、副業（もしくは兼業・複業）はしたことがなく関心もない」14%）であった。

また、副業（もしくは兼業・複業）をしたことがある人は2割（「転職も副業（もしくは兼業・複業）もしたことがある」18%+「副業（もしくは兼業・複業）はしたことがあり、転職はしたことがないが関心はある」3%+「副業（もしくは兼業・複業）はしたことがあり、転職はしたことがなく関心もない」2%）であった。

転職、または、副業（もしくは兼業・複業）の経験の有無に関わらず、子育て世代の約6割が転職、または、副業（もしくは兼業・複業）に「関心がある」と回答している。

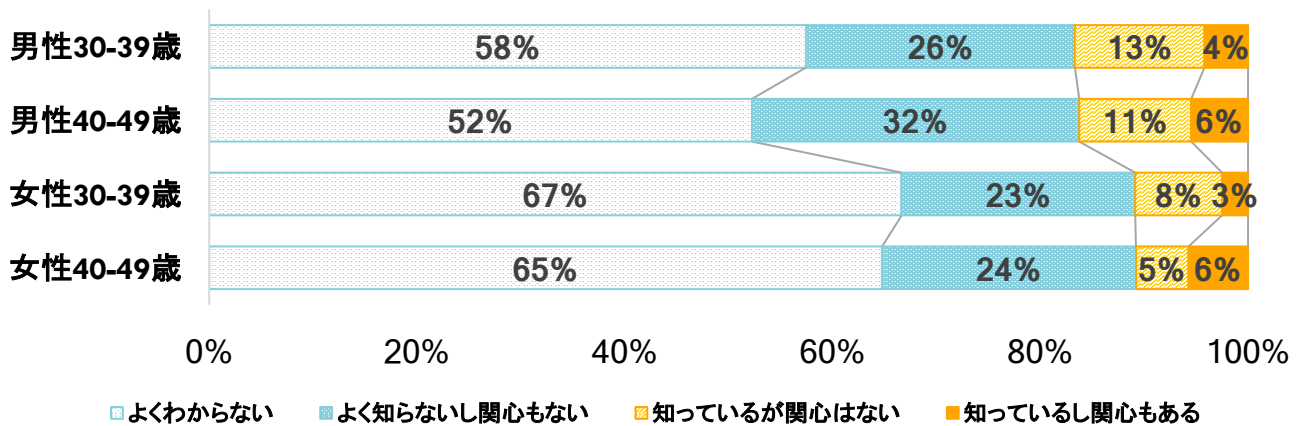
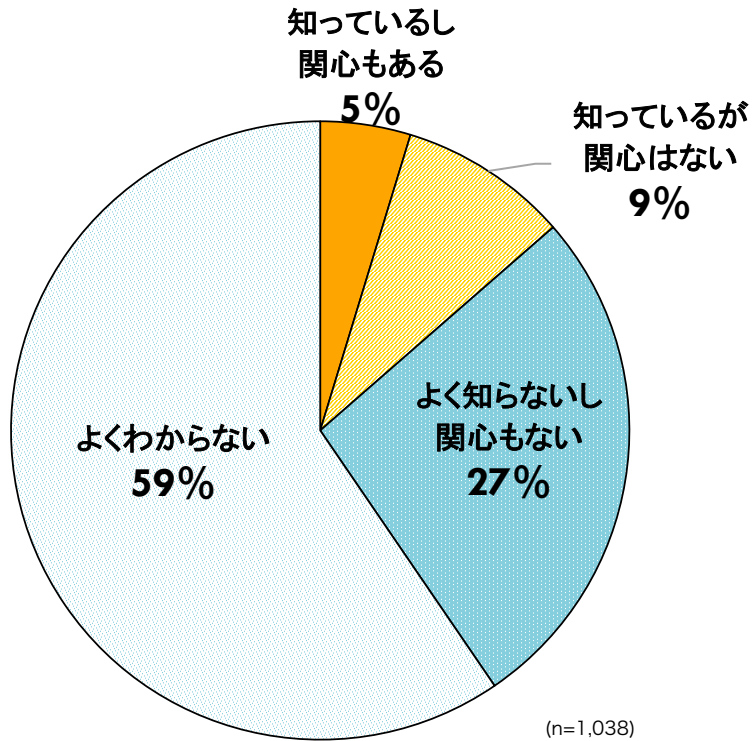
これにより、日本の子育て世代において、「マルチステージ」への土壌はあると考えられる。



13. 「ライフシフト」に対する意識

ライフシフトという言葉を知っていますか？最も近いものを一つ選んでください。

「ライフシフト」という言葉について「知っているし関心もある」5%、「知っているが関心はない」9%を合わせると、「知っている」と回答した人は1割程度に止まった。また、「関心がある」人は僅か5%で、「よくわからない」と回答した人が約6割を占めた。子育て世代にとって、「ライフシフト」という言葉の認知も関心も低いことが分かった。年代との間に有意な相関は認められず、性別との間にも相関はほとんど認められなかった。



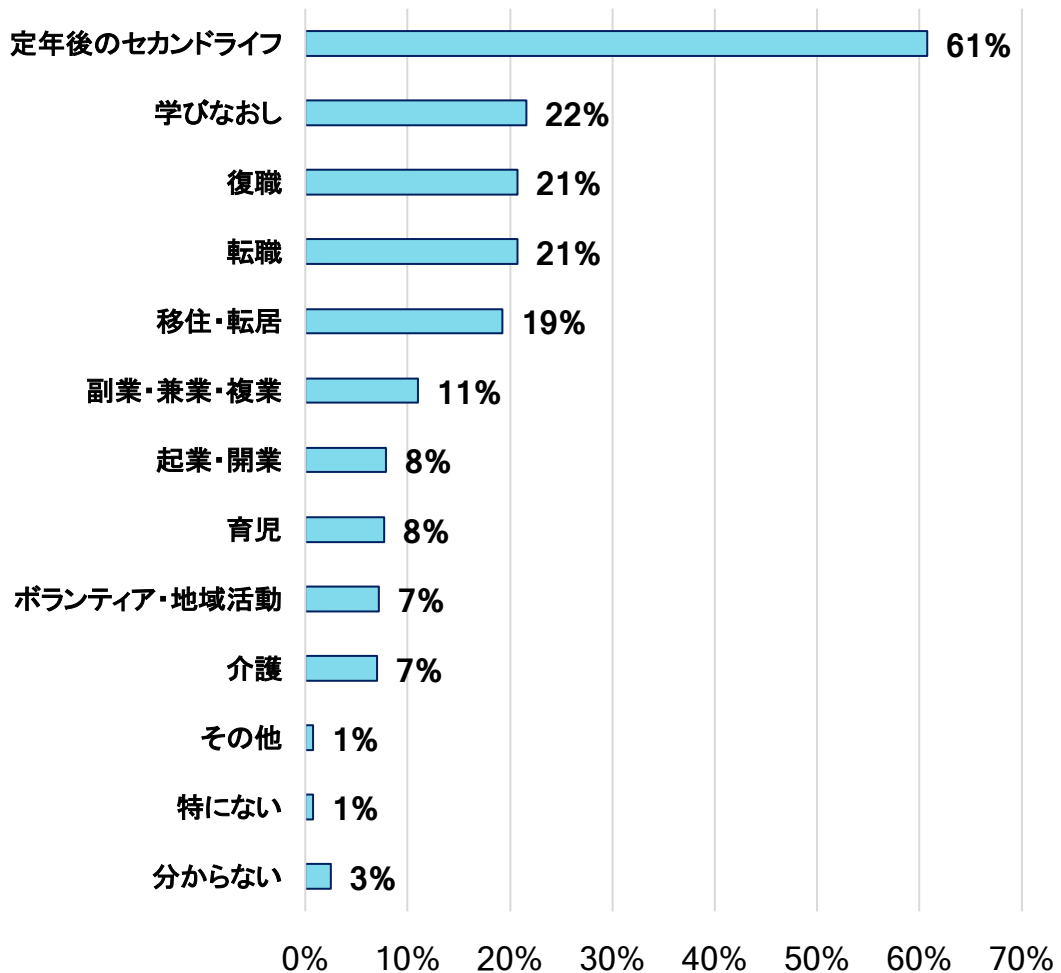
n=1,038 年代 n.s. 性別 rs=-.125 p<.001

13. ライフシフト：イメージ

ライフシフトという言葉から何をイメージしますか？以下から、当てはまるものをすべてお答えください。「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。

「ライフシフト」という言葉について、「定年後のセカンドライフ」とした人が6割であり、子育て世代の多くの人々が「定年後の人生」というイメージを持っていることが分かった。

「学びなおし」「復職」「転職」「移住・転居」とした人がそれぞれ2割程度であった。



n=1,038

その他：

生活の変化、生き方の見直し、仕事の在り方ややり方を考え直すこと、年寄りも働かされる、決まっていないと思う、人生設計

調査結果

調査方法	インターネットリサーチ
実施機関	株式会社 インテージ
実施期間	2018年4月25日（水）
調査対象者	30代と40代の子どもがいる男性と女性
調査エリア	全国
有効サンプル数	1,038（男性520、女性 518）

	性別	度数
1	男性	520
2	女性	518
	合計	1038

	年代	度数
1	30-39歳	360
2	40-49歳	678
	合計	1038

	性別 * 年代	度数
1	男性30-39歳	120
2	男性40-49歳	400
3	女性30-39歳	240
4	女性40-49歳	278
	合計	1038

	本人の職業	度数
1	会社員	797
2	会社役員・管理職	154
3	公務員・団体職員	12
4	自営業	3
5	自由業・専門職	37
6	派遣・契約社員	2
7	パート・アルバイト	14
8	小学生以下	0
9	中学生	0
10	高校生	0
11	予備校生	0
12	専門学校生・短期大学生・大学生・大学院生	1
13	専業主婦・専業主夫	14
14	無職	3
15	その他	1

	同居している子どもの人数	度数
1	0人	0
2	1人	385
3	2人	485
4	3人	136
5	4人以上	32
	合計	1038

	住居形態	度数
1	持ち家 一戸建	617
2	持ち家 マンション(分譲)	156
3	賃貸 一戸建	36
4	賃貸 マンション(アパート・公営を含む)	191
5	社宅・寮	33
6	その他	5
	合計	1038

	業種	度数
1	農業・林業・漁業・鉱業	2
2	土木・建設・不動産・建物サービス	121
3	飲料	5
4	食品・食品加工	28
5	化粧品・ヘアケア	4
6	日用雑貨・トイレットリー	5
7	医薬品・健康食品	16
8	家電製品	20
9	自動車・バイク	29
10	その他製造業	135
11	デパート・スーパー	38
12	コンビニエンスストア・その他小売り	25
13	運輸・倉庫・物流関連	69
14	電気・ガス・熱供給・水道	19
15	電気通信業	18
16	ソフトウェア・情報処理・その他のサービス業	38
17	金融・保険業・銀行・証券・保険・貸金	97
18	飲食・宿泊サービス	13
19	その他サービス	49
20	教育・学習支援	16
21	医療・福祉	173
22	その他	92
23	非該当	26
	合計	1038
	個人年収	度数
1	0円	17
2	100万円未満	20
3	200万未満	73
4	300万円未満	138
5	400万円未満	161
6	500万円未満	145
7	600万円未満	102
8	700万円未満	60
9	800万未満	36
10	900万未満	31
11	1000万未満	27
12	1200万未満	19
13	1500万未満	14
14	2000万未満	3
15	2000万円以上	2
16	わからない	55
17	答えたくない	135
	合計	1038

	世帯年収	度数
1	0円	17
2	100万円未満	20
3	200万未満	73
4	300万円未満	138
5	400万円未満	161
6	500万円未満	335
7	600万円未満	102
8	700万円未満	60
9	800万未満	36
10	900万未満	31
11	1000万未満	27
12	1200万未満	19
13	1500万未満	14
14	2000万未満	3
15	2000万円以上	2
16	わからない	0
17	答えたくない	0
	合計	
	従業員数	度数
1	2-4	48
2	5-9	80
3	10-19	82
4	20-29	57
5	30-39	33
6	40-49	29
7	50-79	66
8	80-99	46
9	100-199	97
10	200-299	59
11	300-499	57
12	500-999	74
13	1000-1999	66
14	2000-2999	32
15	3000-4999	31
16	5000以上	181
	合計	1038
	Q1 あなたの配偶者の職業について、お答えください。	
1	会社員	701
2	会社役員・管理職	127
3	公務員・団体職員	30
4	自営業	13
5	自由業・専門職	15
6	派遣・契約社員	14
7	パート・アルバイト	74
8	小学生以下	0
9	中学生	0
10	高校生	0
11	予備校生	0
12	専門学校生・短期大学生・大学生・大学院生	1
13	専業主婦・専業主夫	47
14	無職	8
15	その他	8

	Q2 あなたは、定年後の人生について、ポジティブな印象を持っていますか？それとも、ネガティブな印象を持っていますか？一番近いもの一つ	
1	とてもポジティブな印象	45
2	どちらかというポジティブな印象	476
3	どちらかというネガティブな印象	434
4	とてもネガティブな印象	83
	Q3 あなた自身は定年後にどのように人生を過ごすかを具体的に考えていますか？また、それに向けた準備を始めていますか？一番近いもの一つ選	
1	具体的に検討しており、準備も始めている	51
2	検討はしているが、具体的な準備は何も始めていない	224
3	考えたことはあるが、まだ何も検討していない	588
4	全く考えたことがない	175
	Q4 あなたは、現在の仕事にやりがいを感じていますか？一番近いもの一	
1	強く感じている	90
2	多少感じている	567
3	あまり感じていない	300
4	全く感じていない	81
	Q5 あなたが現在行っている仕事はあなたが考えている将来のキャリアとマッチしていますか？最も近いもの一つを選んでください。	
1	非常にマッチしている	35
2	大体マッチしている	373
3	あまりマッチしていない	321
4	マッチしていない	199
5	分からない	110
	Q6 あなたは5年後、10年後のキャリアプランを描いていますか？最も近い	
1	5年後も10年後も描いている	130
2	5年後は描いているが10年後は描けていない	184
3	10年後は描けているが5年後は描けていない	27
4	考えたことはあるが全く描けていない	499
5	考えたことがない	198
	Q7 社会人になってから今までに、あなたは、実際に転職や副業(もしくは兼業・複業)をした経験がありますか？また、関心はありますか？最も近	
1	転職も副業(もしくは兼業・複業)もしたことがある	187
2	転職はしたことがあり、副業(もしくは兼業・複業)はしたことがないが	218
3	転職はしたことがあり、副業(もしくは兼業・複業)はしたことがなく関	144
4	副業(もしくは兼業・複業)はしたことがあり、転職はしたことがないが	30
5	副業(もしくは兼業・複業)はしたことがあり、転職はしたことがなく関	16
6	転職も副業(もしくは兼業・複業)もしたことがないがどちらにも関心は	158
7	転職も副業(もしくは兼業・複業)もしたことがないしどちらにも関心も	285
	Q8 あなたは自分自身が今の仕事に対して職場内外において学びの機会が足りていると感じますか？最も近いもの一つを選んでください。	
1	足りているがもっと学ぶ必要がある	208
2	足りているしこれ以上学ぶ必要はない	45
3	足りていないが学ぶ時間がない	342
4	足りていないが学ぶ機会がない	202
5	全く足りていない	116
6	よく分からない	125
	Q9 あなたは自分自身の人生やキャリアのために何か行っていますか？以下から、当てはまるものを全て選んでください。「その他」を選択した場合	
1	個人で本を読んだり勉強したりしている	239
2	趣味の時間を大切にしている	294
3	地域活動やボランティア活動に参画している	74
4	自分のこれまでのキャリアやスキルを振り返り、整理している	76
5	キャリアコンサルタント等のプロに自分のキャリアを相談している	7
6	株・証券・不動産などの資産運用をしている	105
7	手元現金・預金の資金貯蓄をしている	189
8	病気予防のため食生活に気を配り、適度な運動をしている	154
9	健康管理のため定期的に健診・人間ドックに行っている	197
10	職場内の研修や勉強会等に積極的に参加している	141
11	職場外の研修や勉強会等に積極的に参加している	96
12	家族との時間や生活を大切にしている	576
13	職場や家族以外の人と交流の機会を持つようになっている	150
14	その他	0
15	特に何もしていない	183

	Q10 あなたが希望する人生とキャリアの実現のためにどのようなことが必要だと思いますか？以下から必要だと思うことを全て選んでください。	
1	職場内におけるキャリア研修の充実	132
2	雇用の流動化	75
3	副業・兼業・複業の推進	135
4	サバティカル制度の導入(一定の勤続年数を経た勤続者に対して付与され	67
5	働き方改革の推進	213
6	年功に寄らない人材の適性配置	117
7	市場価値に応じた報酬水準の適性化	90
8	同一賃金・同一労働の促進	65
9	年金制度の見直し	293
10	社会保険制度の見直し	206
11	家族との時間の確保	486
12	余暇時間の確保	400
13	教育制度の改革	119
14	学び直しの機会	174
15	教育費の負担へのサポート	229
16	社会全体での子育て	235
17	豊富な人脈や人的ネットワーク	206
18	地域での多様な居場所	111
19	健康な心身のバランス	424
20	医療技術の進展	113
21	語学スキル	170
22	職業的スキルやスキルの向上・更新	224
23	自分のキャリアやスキルを振り返り、整理する機会	137
24	その他	0
25	よくわからない	82
26	特に何も必要ではない	68
	Q11 「人生100年時代」と言われますが、それに対してどのような意識をお持ちですか？最も近いものを一つ選んでください。	
1	知っているし関心もある	177
2	知っているが関心はない	404
3	知らないが関心はある	310
4	知らないし関心もない	147
	Q12 「人生100年時代」と聞いてどのように感じますか？最も近いものを	
1	期待を感じる	26
2	不安も感じるが期待も感じる	308
3	不安を感じる	586
4	何も感じない	118
	Q13 あなたの今後の人生に関して「不安」に感じるのは何ですか？以下から、当てはまるものをすべてお答えください。「その他」を選択した場合	
1	寿命の長寿化	219
2	日本社会全体の高齢化	323
3	日本社会全体の少子化	323
4	住んでいる地域の過疎化・自治体の合併・消滅	106
5	社会保険料の増加	363
6	可処分所得の低下	141
7	年金受給の有無	575
8	定年後の生活資金	625
9	定年までの雇用	216
10	定年後の雇用	311
11	定年後の生活(何をするか)	351
12	自分自身の市場価値	109
13	AIやIoTの進化	55
14	住宅ローン・建て替えや補修支出	336
15	家賃の支払い	99
16	自分自身の健康	540
17	家族の健康	504
18	親の介護	470
19	夫婦関係	212
20	親子関係	157
21	その他	6
22	特に不安なことはない	61

	Q14 ライフシフトという言葉を知っていますか？最も近いものを一つ選ん	
1	知っているし関心もある	
2	知っているが関心はない	49
3	よく知らないし関心もない	92
4	よくわからない	279
		618
	Q15 ライフシフトという言葉から何をイメージしますか？以下から、当てはまるものをすべてお答えください。「その他」を選択した場合は具体的	
1	転職	215
2	復職	215
3	起業・開業	82
4	副業・兼業・複業	114
5	学びなおし	224
6	移住・転居	200
7	ボランティア・地域活動	75
8	育児	80
9	介護	73
10	定年後のセカンドライフ	631
11	その他	8
12	特にない	8
13	分からない	26